CHOFU

取扱説明書

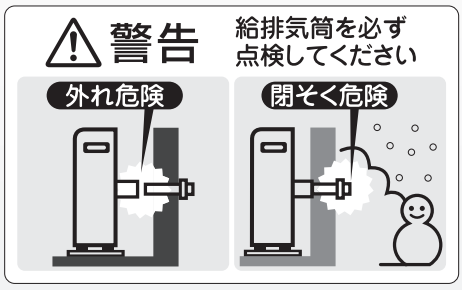
保証書付

石油暖房機

〔密閉式石油ストーブ〕

型名

sunpot UFH−6411URF D 床暖房内蔵ウォームトップ
sunpot FFR−7011RF D ウォームトップ





お客様ご自身による工事は危険です。
据付工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

70000300(KI)

取扱説明書をお読みになる前に

使ってみよう！

お部屋を暖めたい

点火 ➡ 18ページ

火力の調節 ➡ 19～20ページ

経済的に暖房を使いたい

eco(エコ)運転 ➡ 25～26ページ



起床する前にお部屋を暖めたい

タイマーセット

➡ 23～24ページ

手動運転で暖房を使いたい

手動運転

➡ 20ページ

困ったときは？

お手入れの方法は？

➡ 27～29ページ



ストーブの動きがいつもと違う

➡ 32～38ページ

表示部・操作部にチェックモードが出ている！

➡ 33～37ページ

も　く　じ

ページ

ご使用の前に

取扱説明書をお読みになる前に …… 2
特に注意していただきたいこと …… 4
使用する場所
（効果的に使用するために）…… 10
各部の名称
（外観図）…… 11
（表示部）…… 13
（操作部）…… 14
ご使用前の準備と確認
（燃料）…… 15
（給油）…… 15
（空気抜き）…… 15
（点火前の準備と確認）…… 16

基本の使いかた

使用方法
（点火）…… 18
（火力の調節）…… 19
（床暖房運転）…… 21
（消火）…… 22
（時刻合わせ・タイマー時刻合わせ）…… 23

必要なときに

使用方法
（タイマーセット）…… 24
（eco(エコ)運転）…… 25
日常の点検・手入れ
（点検・手入れのときの注意）…… 27
（点検・手入れの必要事項、時期、方法）…… 27
定期点検
（定期点検の実施時期）…… 30
（定期点検の内容）…… 30
設計上の標準使用期間について …… 31
故障かな？と思ったら
（修理を依頼する前に）…… 32
（不完全燃焼防止装置について）…… 32
（安全装置）…… 34
（その他の装置）…… 35
（チェックモード）…… 36
（点検時期お知らせ機能）…… 37
部品交換について …… 39
保管 …… 40
仕様 …… 41
据付け・移設 …… 43
試運転 …… 48
配線図 …… 50
保証書 …… 巻末
アフターサービス …… 裏表紙

特に注意していただきたいこと

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

⚠警告

●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



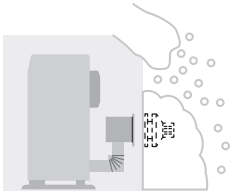
●給排気筒(管・ホース)はずれ危険

給排気筒(管・ホース)がはずれたまま使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



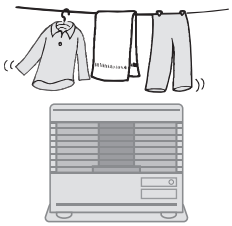
●給排気筒閉そく危険

給排気筒(管・ホース)がつまったり、ふさがれたりしたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。
積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪や氷柱(つらら)でふさがれたままで使用しないでください。
ふさがれているときは除雪してください。
酸欠事故・火災・過熱の原因になります。



●衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



●温風吹出口をふさがない

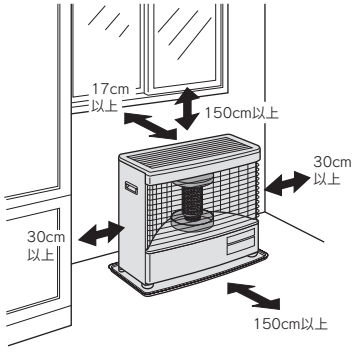
衣類や紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
衣類や紙などでふさぐと、火災の原因になります。



●可燃物近接厳禁

カーテン・布団・毛布など燃えやすい物のそばなどで使用したり、ストーブや排気管に近づけたりしないでください。
火災の原因になります。
可燃物とは図の示す距離を確保してください。
詳細は据付場所の選定および標準据付例を参照してください。

43〜44ページ



●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「**してはいけない**」内容です。		実行 「**しなければならない**」内容です。

	ガソリン厳禁		接触禁止		分解禁止		衣類乾燥禁止
	電源プラグを抜く		一般的な警告・注意				

●低温やけどに注意 床暖内蔵タイプ



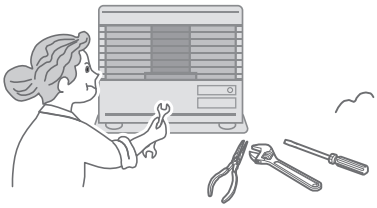
長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。
比較的低い温度(40～60℃)でも低温やけどや脱水症状の原因になります。



●ご自身での据付け・移設工事の厳禁



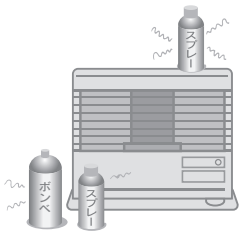
お客様ご自身による工事は危険です。
据付工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)



●スプレー缶厳禁



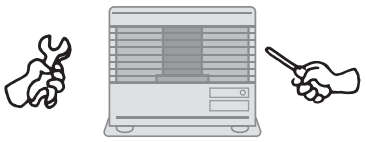
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、温風のあたるところや、ストーブの上や前に(周囲に)放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。



●改造・分解禁止



改造して使用しないでください。また、ストーブや排気筒には床暖房用の熱交換器などを取り付けないでください。
火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。改造・分解して使用しないでください。
改造・分解は、ストーブの安全性を損なうため、火災など、思わぬ事故の原因になります。
故障、破損したら使用しないでください。



●定期点検の実施



定期的(2年に1回程度)に点検・整備を受けてください。
点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。
点検・整備はお買い求めの販売店や資格者のいる店に依頼してください。



●外付け装置による遠隔操作厳禁



スマートフォン、IT機器を使ってストーブのスイッチを操作する外付け装置(※)は安全性を確認できないため、使用しないでください。
※操作ボタン付近に設置し、インターネット通信などを介して、操作ボタンを入り切りできる装置。



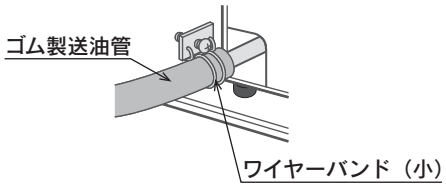
特に注意していただきたいこと

⚠注意

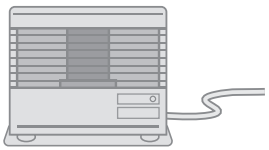
●給油時は消火する
給油は必ず消火し、火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。



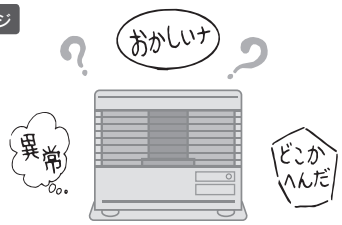
●油漏れの確認
油タンク・ゴム製送油管・接続部・送油バルブおよびストーブなどから灯油漏れがないことを確認の上、ご使用ください。
灯油が漏れていると火災の原因になります。



●ゴム製送油管の点検・交換をする
ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がなくても2～3年に一度は新しい物に交換することをおすすめします。
交換しないと油漏れにつながり、火災の原因になります。



●異常・故障時使用禁止
油漏れや臭い、ススの発生、炎の色・エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。
事故の原因になります。
「**故障かな？と思ったら**」に従って処置してください。
32～38ページ



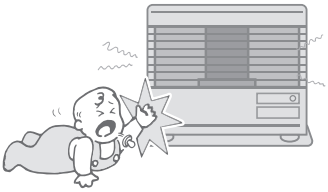
●不良灯油使用禁止
変質灯油（持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油など）などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



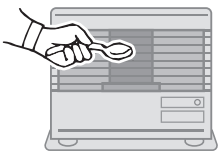
●温風に直接あたらない
温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



●高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は、高温部（前面ガード）、排気筒（給排気筒トップ）に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。



●指や異物を入れない
ガード内や空気取込口などに指や異物を入れないでください。
けがや火災の原因になります。

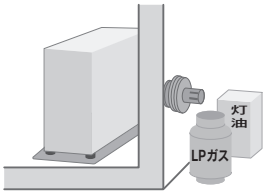


●腰をかけたり物を載せない
ストーブの上に乗ったり、腰をかけたりしないでください。
機器の故障や、やけどのおそれがあります。
ストーブの上に花びんや水を入れた物などを置かないでください。
水がかかると、漏電や故障の原因になります。



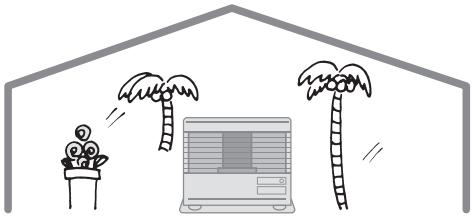
●給排気筒付近の可燃物近接禁止

給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのある物を置かないでください。
火災の原因になります。



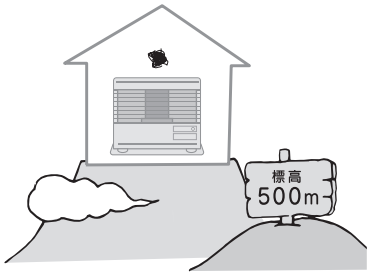
●特殊な場所での使用禁止

ストーブは居室の暖房用としてつくられた物ですので、乾燥室・温室・飼育室などでは絶対に使用しないでください。
また、クリーニング店・美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。



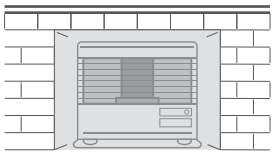
●高地で使用するときはご相談ください

標高500m未満でご使用ください。
標高500m～1,500mで使用する場合は調整が必要です。
そのまま使用すると、空気不足となり、異常燃焼の原因になります。
（詳しくは、工事説明書の「**延長給排気方式・高地使用時の工事**」方法を参照してください。）
標高1,500mを超える高地では使用できません。



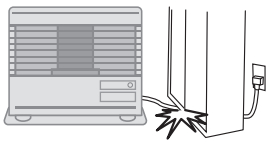
●マントルピース内据付け禁止

マントルピース内には据え付けないでください。
ストーブが故障したり、火災になったりする原因になります。



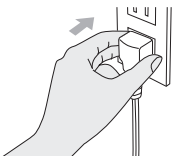
●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



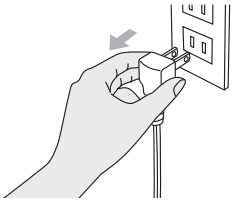
●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
（また、傷んだプラグや緩いコンセントは使用しないでください。）
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。



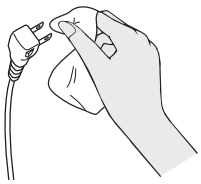
●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



●電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（および金属物）を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

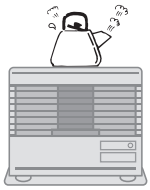


特に注意していただきたいこと

⚠注意

●やかん載せ禁止

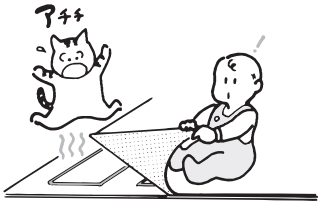
やかんなどを載せないでください。
振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。
やかんなどによってストーブの上面をふさぐと、ストーブ内の温度が上昇し、破損や予想しない事故の原因になります。



●カーペットのはがれに注意

床暖内蔵タイプ

カーペットがずれたり、めくれたりしたまま使用しないでください。
床暖房パネルに直接触れると、やけどのおそれがあります。



●循環水(不凍液・補充液)の保管に注意

床暖内蔵タイプ

循環水(不凍液・補充液)は幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。

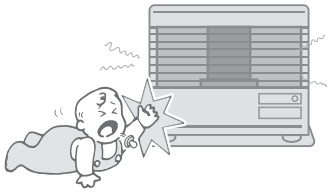


お願い

使用上の注意

●高温部に注意

機器の上面板・上面ガード・前面ガードなどは高温です。やけどに注意してください。
特にお子様をストーブに近づけないでください。保護ガード(関連部材)のご使用をおすすめします。
上面ガードを取りはずしたり、前面ガードを開いたりしたまま使用しないでください。
放熱器やガラスなどの高温部に誤って触れるとやけどをします。
給排気筒トップや排気管は高温です。やけどに注意してください。



●低温やけどに注意 床暖内蔵タイプ

長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。
比較的低い温度(40℃～60℃)でも低温やけどや脱水症状の原因になります。
次のようなかたがご使用になるときは、周りのかたが常に注意してあげてください。

- 乳児・お子様・お年寄り・病人や体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 睡眠薬などを服用されたかた
- 深酒・疲労の激しいかた
- 心臓病などで身体を暖めることを医師から止められているかた



●雷時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
激しい雷の影響でストーブが故障するおそれがあります。

●シーズンオフの注意

シーズンオフのように、長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。
また、シーズン初めに使用されるときは、「**ご使用前の準備と確認**(15～17ページ)」・「**試運転**(48～49ページ)」の項を参照して確認および操作を行ってください。

●ガラス部の注意

ガラスに水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。
ガラスが割れて、危険です。

●長期間使用時の注意

長期間使用すると、ガラス内部に白い物質が付着することがあります。
これは灯油中の成分が付着したもので、ガラスの耐久性には問題ありません。

●ストーブ前面付近の注意

ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので熱に弱い物を置いたり、敷いたりしないでください。
変色や変形することがあります。

●燃料切れの注意

燃料を途中で切らしたり、送油バルブを閉じたまま燃焼させたりすると、消えるときに小爆発音を発生することがあります。
燃料を切らさないようにしてください。
また、送油バルブが開いていることを確認の上、点火してください。

●機器を廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。
お買い求めの販売店にご相談ください。

●灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

使用する場所

●ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。
●場所の選定は「**据付場所の選定および標準据付例**」の項をお読みください。43〜44 ページ

効果的に使用するために

●冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据え付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
●ストーブの前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

●水平でない場所、不安定な場所
●不安定な物を載せた棚などの下
●可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
●付近に燃えやすい物がある場所
●階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
●マントルピース内
●温室・飼育室など人のいない場所
●標高1,500mを超える高地

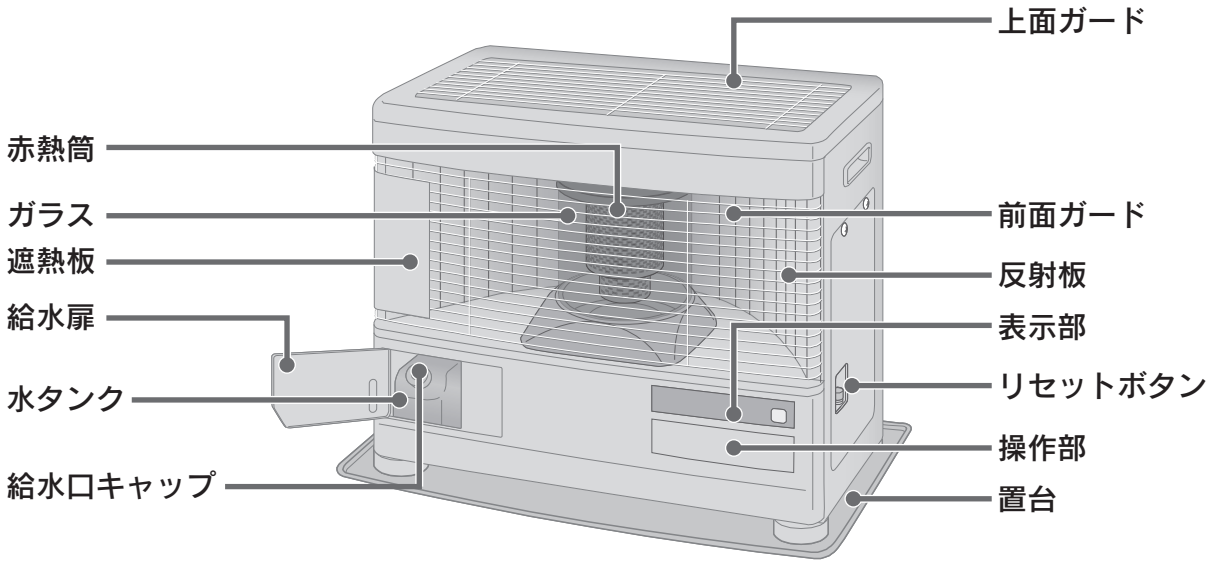
各部の名称

外観図

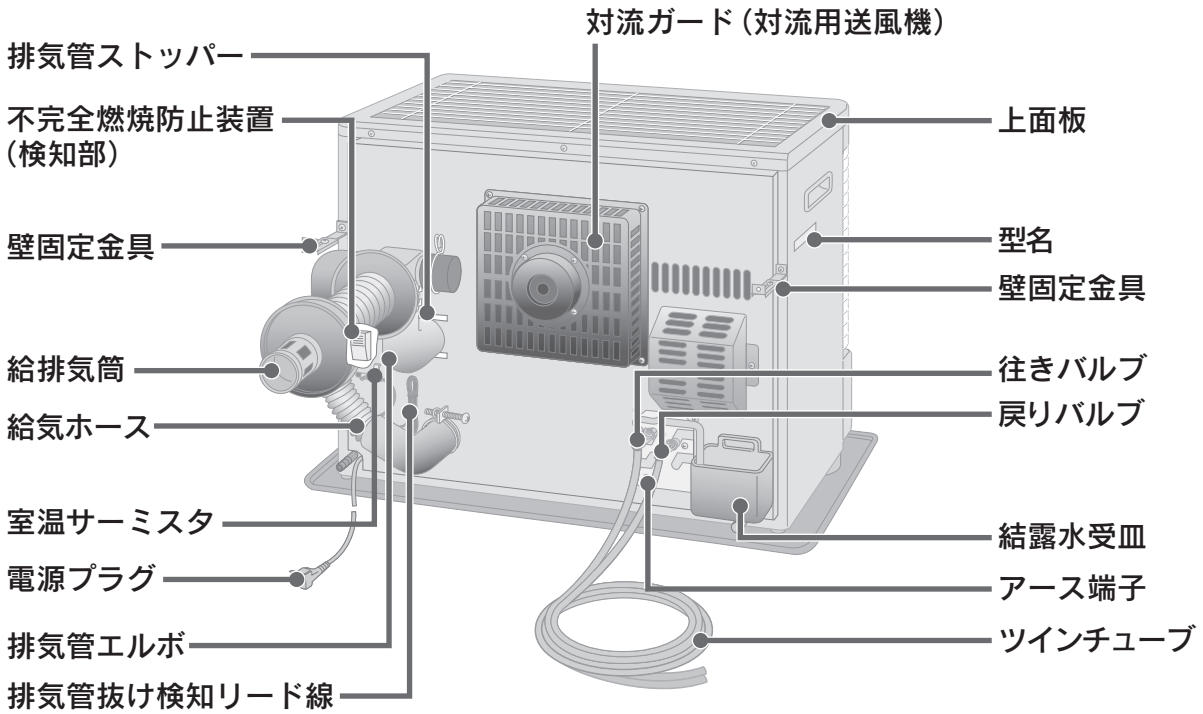
イラストはイメージです。

UFH-6411URF

正面



背面



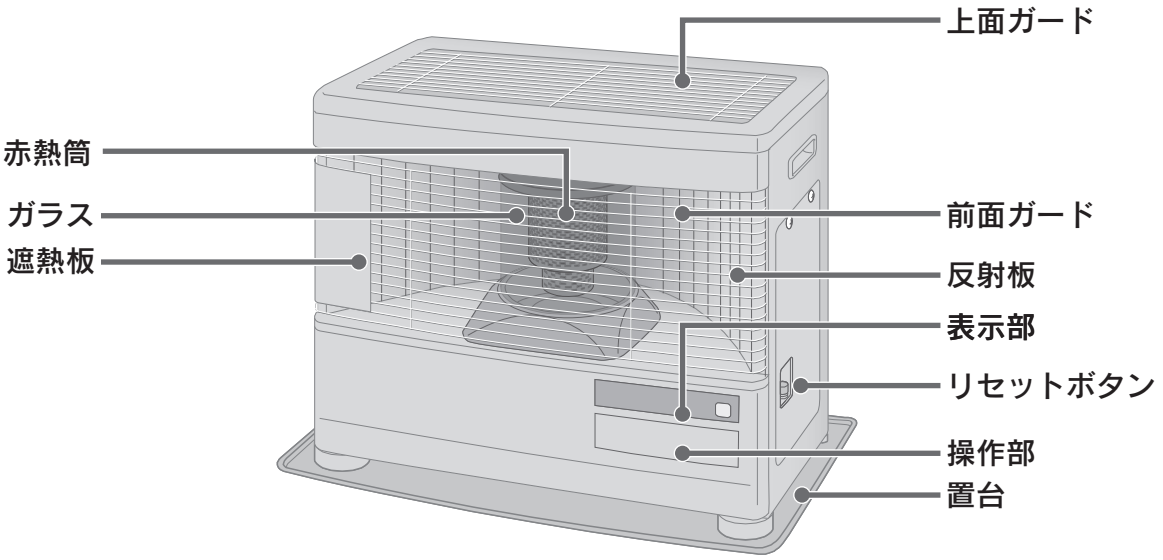
各部の名称

外観図

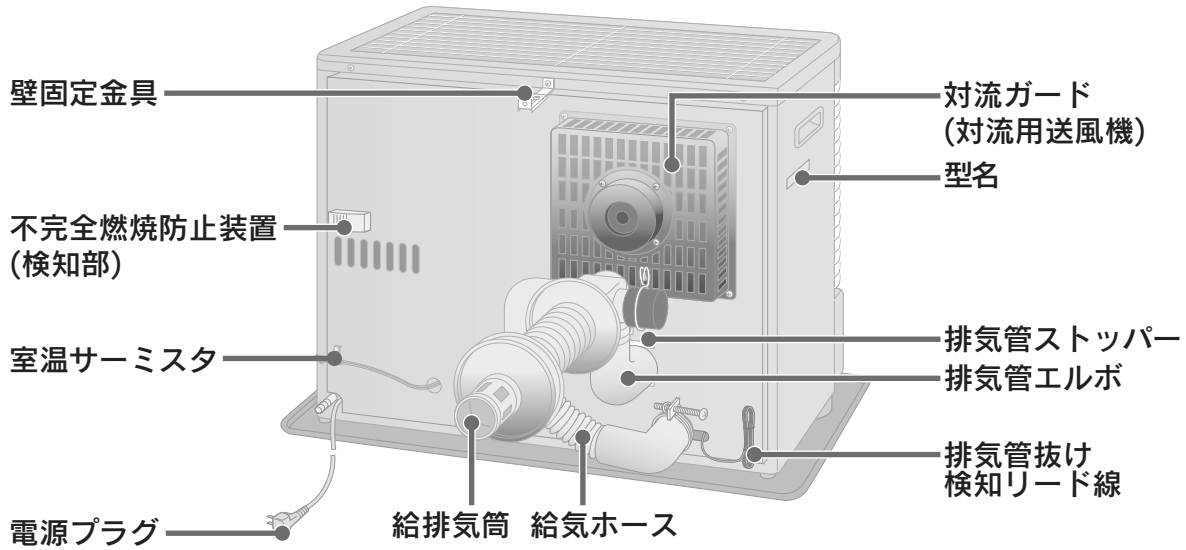
イラストはイメージです。

FFR-7011RF

正面



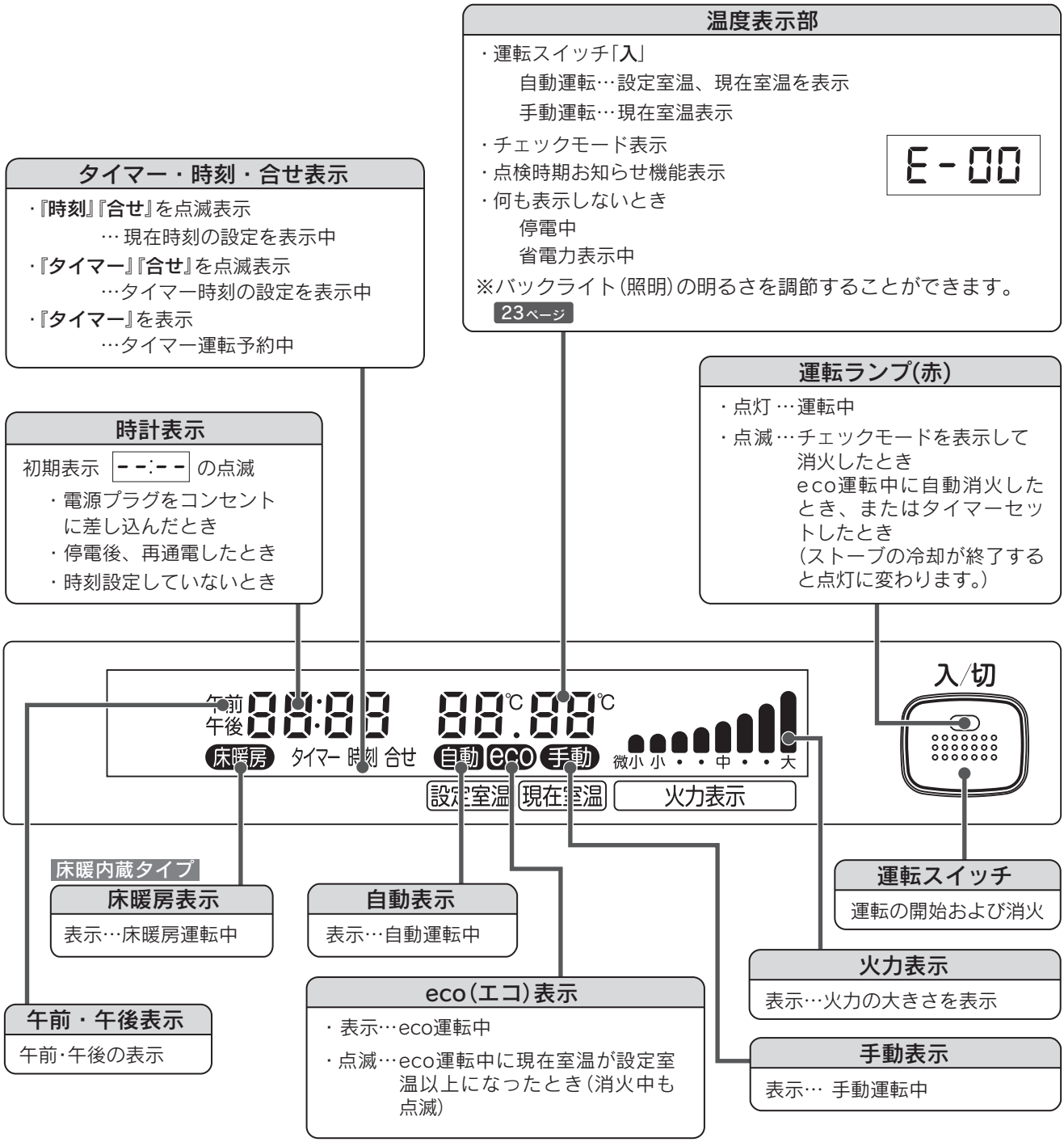
背面



表示部

イラストはイメージです。

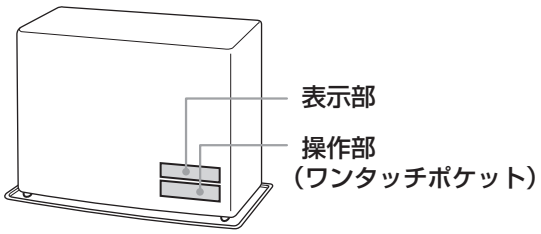
※取扱説明書内の操作説明は、床暖内蔵タイプのイラストを使用しています。

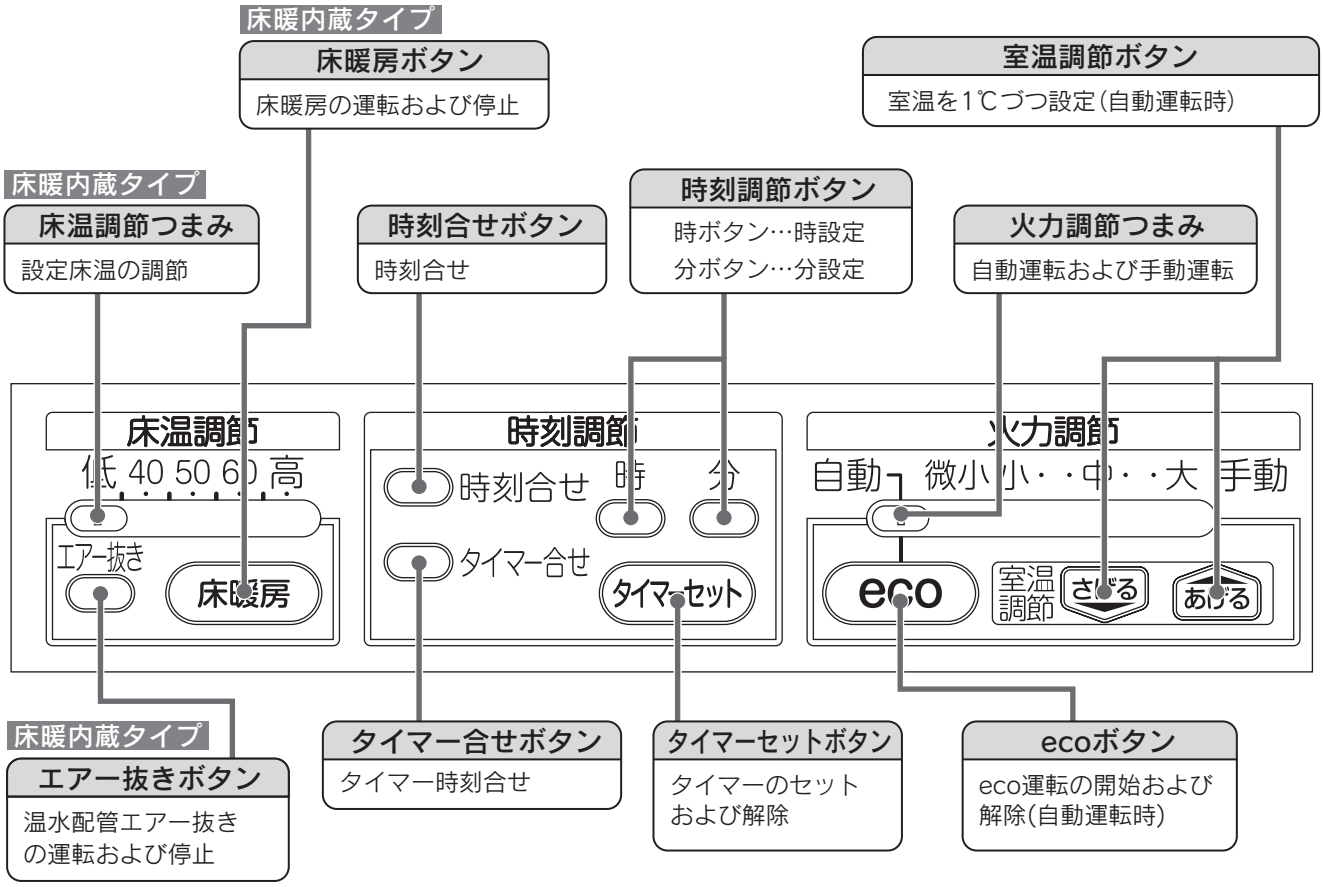


各部の名称

操作部

●操作部は、ワンタッチポケットを軽く押し込むと、ゆっくり開きます。
軽く押し戻すと、ロックして閉まります。
※取扱説明書内の操作説明は、床暖内蔵タイプのイラストを使用しています。





お知らせ

●操作するとき以外は、閉じて使用してください。
●操作ボタンを押すと「**ピッ**」音を発して、受け付けたことをお知らせします。
●誤ったボタンを押すと「**ピピッ**」音を発して、受け付けないことをお知らせします。
（消音設定時は除く。）
●受付音を消す場合は、運転スイッチが「**切**」の状態で時ボタンとecoボタンを３秒以上同時に押してください。
「**ピピピ**」音を発して設定されます。もう一度操作すると「**ピピピ**」音を発して操作音が発するように設定されます。

ご使用前の準備と確認

燃 料

●燃料は、灯油(JIS1号灯油)を必ず使用してください。
●不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。
不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは、
・変質灯油：古い灯油(ひと夏持ち越した灯油)・日あたりがよい場所に保管した灯油・温度が高い場所に保管した灯油など。
・不純灯油：灯油以外の油(ガソリン・シンナー・天ぷら油・機械油・重油など)がほんの少しでも混入した灯油。
また、水・ゴミが混入した灯油。
●変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、ストーブの故障の原因になります。

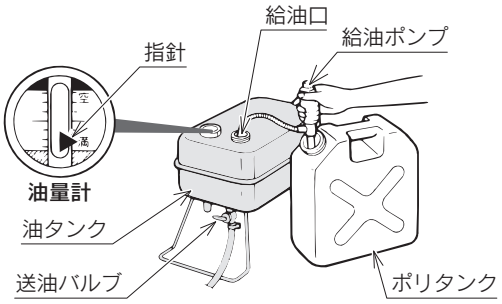
給 油

給油はストーブを消火してから行ってください。

1 油タンクの送油バルブを閉める

2 油タンクの給油口ふたをはずし、給油する

●油量計の表示が「**満**」の印以上には絶対に入れないでください。



3 給油口ふたを確実に閉める

4 こぼれた灯油はよくふきとる

ご注意

●油タンクは空にしないでください。
「**空**」まで燃焼させるとストーブより「**ボン**」と音がしたり、ススが発生したりして、故障の原因になります。
●給油するときは、ゴミなどが入らないよう注意してください。燃焼不良の原因になります。

空気抜き

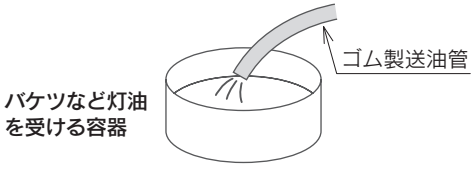
初めて使用するときや、油切れでチェックモードが表示されたときに行ってください。

1 油タンクの送油バルブを閉める

2 ストーブからゴム製送油管をはずす

3 送油バルブを開けて、灯油が連続して流れることを確認する

●灯油がこぼれないように容器を用意してください。



4 送油バルブを閉めて、ゴム製送油管を元通りに取り付ける

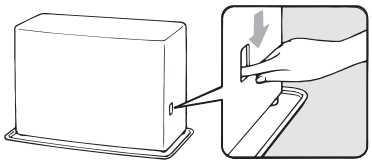
ご使用前の準備と確認

点火前の準備と確認

1 定油面器安全装置のリセット

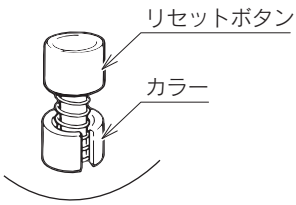
●初めて使用するときやシーズン初めに使用するときは、リセットボタンを押してください。
据付時やストーブに強い振動をあたえたときに、定油面器の安全装置が作動して灯油が流れないようになっています。
点火操作後、油タンクに灯油が入っていても「E-03」「E-33」「E-05」「E-35」「OIL」のチェックモード表示が出たときは、リセットボタンを押して安全装置を解除してください。

リセットボタンを軽く押し、
すぐ指を離す



ご注意

●リセットボタンを燃焼中むやみにさわらないでください。
●絶対にカラーをはずして、押さないでください。



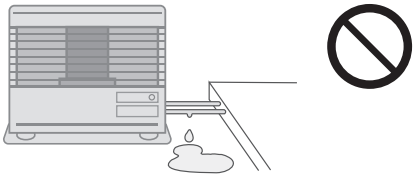
2 油漏れの確認

●ゴム製送油管やストーブの置台に油漏れがないことを確認してください。
万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



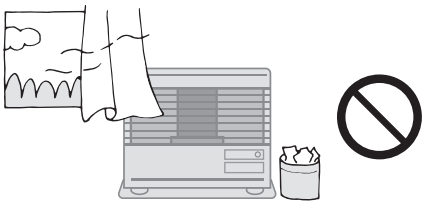
3 水漏れの確認 床暖内蔵タイプ

●温水配管接続部から水漏れがないことを確認してください。
万一、水漏れしている場合は温水バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



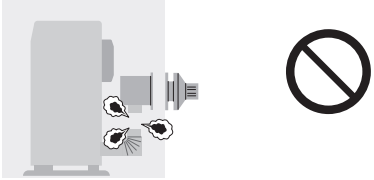
4 ストーブ周囲の確認

●ストーブの周囲および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないことを確認してください。
火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。



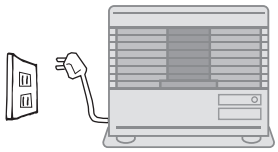
5 給気ホース・排気管の接続の確認

●給気ホース・排気管が正しく接続されていることを確認してください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。



6 電源プラグの接続

● 電源プラグが100Vの専用コンセント(家庭用AC100V)に差し込んであることを確認してください。また、電源コードを給排気筒に巻きつけたり、排気筒などの高温部に触れたりしないように注意してください。

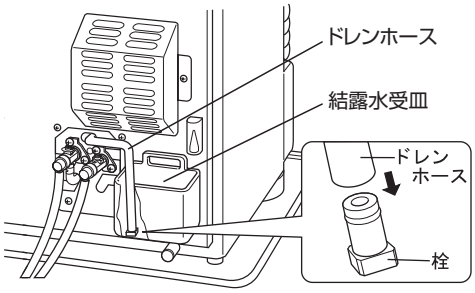


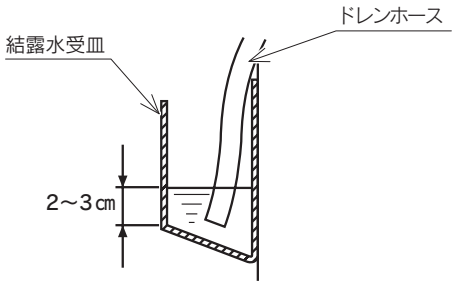
7 循環水の水位確認 床暖内蔵タイプ

● 機器左下部の給水扉にあるのぞき窓から循環水の水位を確認してください。
(補給方法 28ページ)

8 ソフト床暖房パネル3畳以上で使用の場合の結露水受皿内の水確認 床暖内蔵タイプ

● ソフト床暖房パネル3畳以上を敷設する場合には、機器背面のドレンホースの栓をはずし、結露水を結露水受皿に排出するようにします。
● 床暖房パネルの敷設枚数が多い場合、排ガス中の水蒸気が結露する場合があります。
この発生した結露水を機器の背面にある結露水受皿にためる構造にしています。
● ドレンホースからは、結露水とともに排ガスの臭いがすることがありますので、必ずドレンホースの先端が水の中へ入っていて、結露水受皿の中に水が2～3cm入っていることを確認してください。
● 結露水の発生が少ない場合や、室内の湿度が低いときには、結露水受皿の水が蒸発しますので、水が底から常に2～3cm入っていることを確認して、不足している場合には給水してください。
また、結露水受皿に水が半分以上たまっている場合には取りはずして、2～3cm程度残して排水してください。





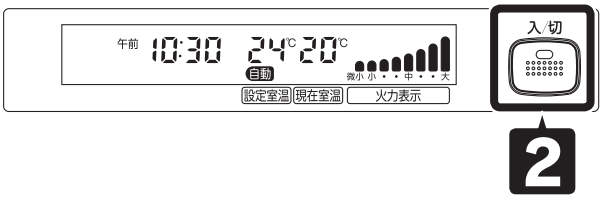
ご注意 床暖内蔵タイプ

● 床暖房パネルの敷設枚数がソフト床暖房パネル3畳未満の場合には、ドレンホースの栓をはずす必要はありません。また、結露水受皿に給水する必要もありません。
● 当社純正のソフト床暖房パネルおよび金属床暖房パネル(既設品入替時)以外には接続しないでください。

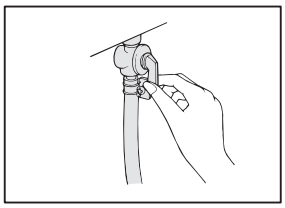
使用方法

省電力表示について
運転スイッチが「**切**」でストーブが停止中、ボタンを押さない状態が2分以上続くと省電力表示となり、表示部の表示がすべて消えます。この状態から操作する場合は、運転スイッチを除くいずれかのボタンを一度押して表示部を表示させた後、各操作を行ってください。

点火　運転を開始します。

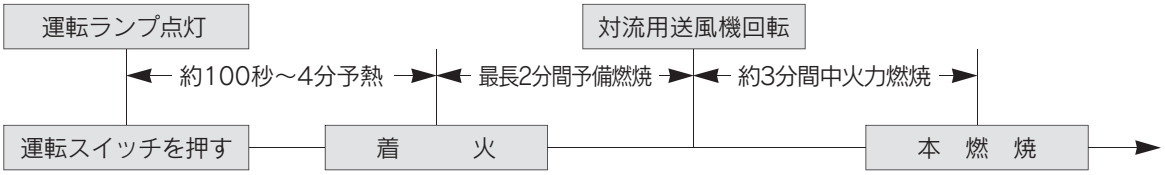


1 油タンクの送油バルブを開く



2 入/切 を押して「入」にする

●ブザーが「**ピッ**」と鳴り、運転ランプと表示部のバックライトが点灯します。約100秒～4分予熱後、着火します。(室温・外気温により着火までの時間は変動します。)
●最長2分間予備燃焼を行った後、対流用ファンが回ります。



お知らせ

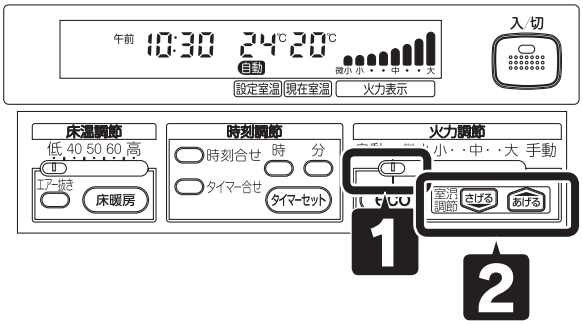
●燃焼中に運転スイッチを押して「**切**」にしたり、タイマーボタンを押すなどして2秒経過すると自動消火し、約2分間の冷却運転の後でないと再点火できません。

お願い

●初めて使用する場合、油タンクより定油面器内へ油が流れてくるまで時間がかかりますので、2～3分放置後点火操作を行ってください。
●点火の際には、ガラスより着火を確認してください。着火しない場合は、油タンクの送油バルブの開放や定油面器のリセットボタンを確認してください。16ページ
●運転スイッチを「**入**」にし、液晶表示部に『**E-19**』のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不充分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。運転スイッチを一度「**切**」にし、ストーブが停止したのち点検して確実に接続してから、運転スイッチを「**入**」にしてください。35ページ

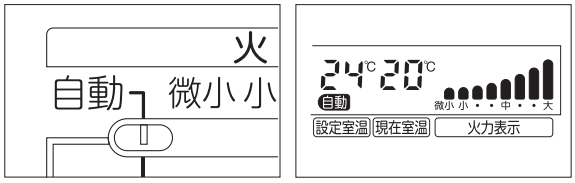
火力の調節

自動運転 設定室温と現在室温に応じて、自動的に火力を変え運転します。



1 火力調節のつまみを自動の位置に合わせる

●『自動』と設定室温および現在室温を表示します。



2 さげるまたはあげるを押してお好みの室温を設定する

- 「**さげる**」または「**あげる**」ボタンを押すと1℃づつ変化します。
- 室温の設定範囲は「**12～32**」℃です。
- 対流用送風機は、火力に応じて停止・Lo・Mid・Hiの4段階で回転数が変化します。
- 火力は火力表示8段階で表示します。
- 現在室温は「**5～35**」℃の範囲で表示されます。
  ただし、現在室温が5℃未満で『**Lo**』、35℃を超えると『**Hi**』の文字表示となります。
- 設定室温の数字は室温のめやすです。設置条件によっては必ずしも室温と一致しません。
- 設定室温は一度設定すれば記憶されますが、停電の場合には解除され自動的に「**24**」℃に設定されます。
- 自動運転では消火は行わないため、比較的暖かい時期や設置条件によっては設定室温より室温が上がることがあります。この場合は「**eco運転**」をご使用ください。燃焼・消火を繰り返し、室温を調節します。25～26 ページ

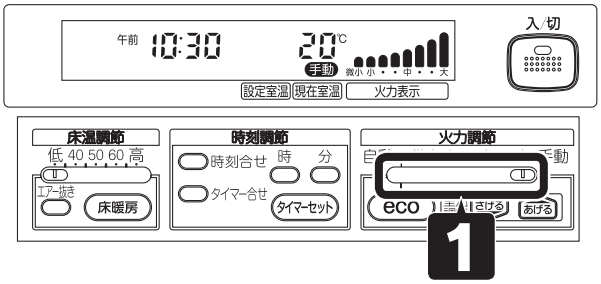
お知らせ 床暖内蔵タイプ

- 燃焼中に炎がかたよったり赤火が混ざったり、上下変動したりすることがありますが異常ではありません。
- ストーブの前面には温風をさまたげる障害物を置かないでください。障害物があると温風が回り込み、室温調節が正しく働かない場合があります。
- 燃焼中「**カチカチ**」音がすることがありますが、電磁ポンプの運転音で異常ではありません。

使用方法

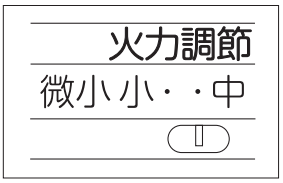
火力の調節

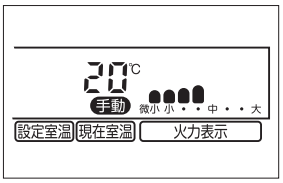
手動運転 設定した火力で運転を続けます。室温による火力調節はしません。



1 火力調節つまみをお好みの位置に合わせる

- 『手動』と火力表示、現在室温を表示します。
- 火力は火力表示8段階で表示されます。
- 対流用送風機は、火力に応じて停止・Lo・Mid・Hiの4段階で回転数が変化します。

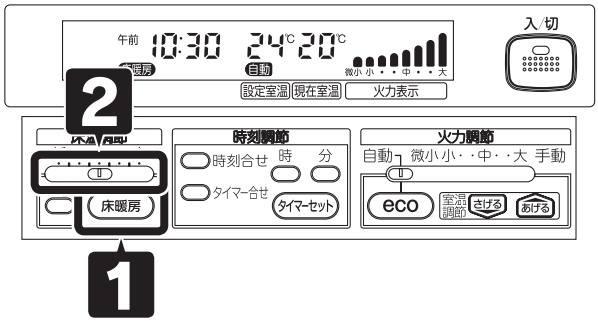




火力	火力表示	火力	火力表示
大	微小 小・・中・・大	小3段	微小 小・・中・・大
中3段	微小 小・・中・・大	小2段	微小 小・・中・・大
中2段	微小 小・・中・・大	小1段	微小 小・・中・・大
中1段	微小 小・・中・・大	微小	微小 小・・中・・大

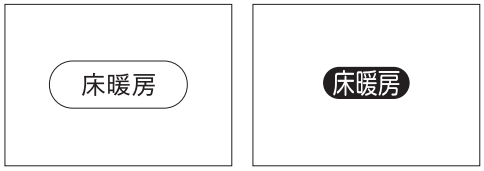
使用方法

床暖房運転　床暖内蔵タイプ　ストーブの廃熱を利用して、床暖房運転します。



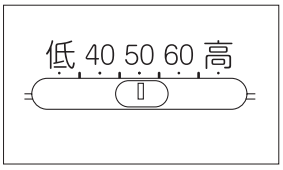
1 入/切 が「入」のときに 床暖房 を押す

●『床暖房』を表示します。

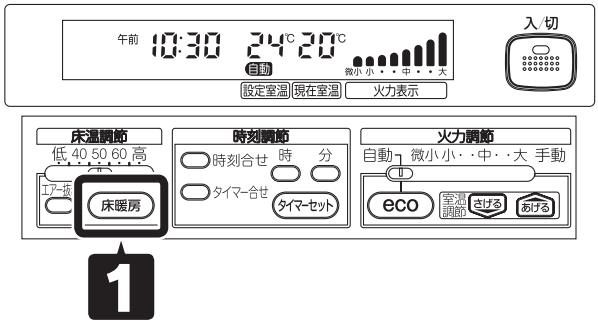


2 床温調節つまみでお好みの床温を設定する

- 床暖房の設定範囲は「32～68」℃です。
- 床温調節は循環水の温度を調節するもので、数字は床温のめやすです。床面温度を調節するものではありません。
- 床表面温度はカーペットなどの種類によって循環水の温度より10～20℃低くなります。



床暖房停止　床暖内蔵タイプ



1 床暖房 を再度押す

●『床暖房』が消えます。



ご注意

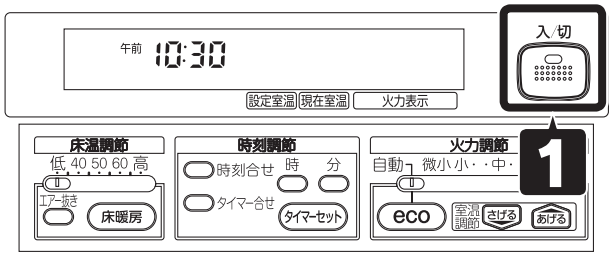
- 床温調節は部屋の温度調節ではありません。床温を上げすぎないように注意してください。
- 凍結防止および腐食防止のために当社純正の不凍液をご使用ください。

お知らせ

- 床暖房パネルの枚数が多い場合、設定床温まで上がらないことがあります。
- 自動運転の場合、室温を優先して火力を制御しますので、設定床温まで上がらないことがあります。
- 床暖房同時運転により現在室温が設定温度よりも大きく上昇する場合は、「**eco運転**」をご使用ください。25ページ
- 点火・消火・床暖房同時運転のとき、キシミ音がすることがありますが、金属の膨張・収縮音で異常ではありません。
- 床暖房同時運転にした場合や床暖房同時運転せずに大燃焼を継続した場合、一時的に「**ゴボッ**」という循環水中の蒸気が抜ける音がしますが、異常ではありません。

使用方法

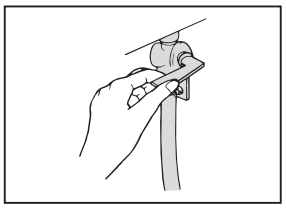
消火　運転を停止します。



1 入/切 を再度押して「切」にする

- 運転ランプが消灯します。
- 温度表示と火力表示が消え、現在時刻だけ表示し、10秒後バックライトが暗くなります。

2 油タンクの送油バルブを閉じる



3 消火を確認する

- 対流用ファンは、ストーブが冷えるまでの約8分間回り続けます。

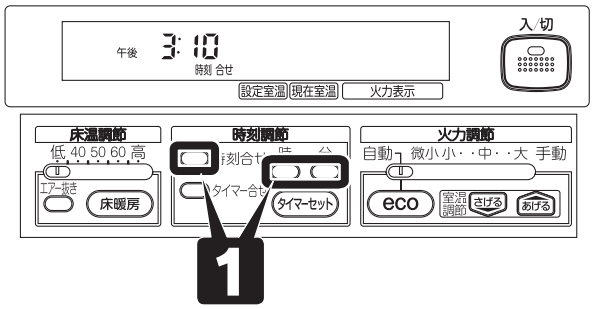
お願い

- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは対流用ファンが停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。ストーブが過熱し、故障の原因になります。
- お出かけになるときは、必ず運転スイッチを「**切**」にして消火してください。

時刻合わせ・タイマー時刻合わせ

時刻合わせ

●初めて使用するときや停電後、表示が --：-- になっている場合には、時刻合わせを行ってください。

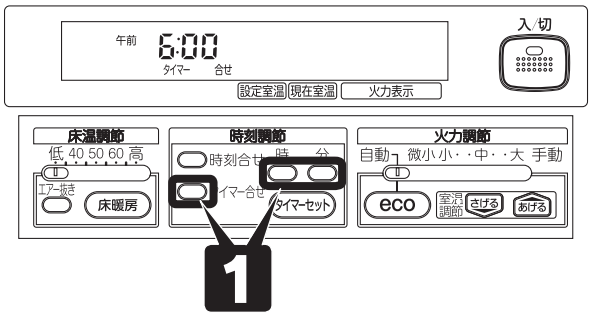


停止中でも運転中でも合わせることができます。

1 時刻合せボタンを押しながら、時・分ボタンを押す

●時刻合せボタンを押しながら時ボタンを押すと「**時**」が進み、時刻合せボタンを押しながら分ボタンを押すと「**分**」が進みます。
●時刻合せボタンを押しながら時・分ボタンを押し続けると早送りになります。
●停電があると記憶が解除されます。再設定してください。

タイマー時刻合わせ



停止中でも運転中でも合わせることができます。

1 タイマー合せボタンを押しながら、時・分ボタンを押す

●タイマー合せボタンを押しながら時ボタンを押すと「**時**」が進み、タイマー合せボタンを押しながら分ボタンを押すと「**分**」が進みます。
●「**分**」は5分ずつ変更できます。
●タイマー合せボタンを押しながら時・分ボタンを押し続けると早送りになります。
●停電があると記憶が解除されます。再設定してください。
●時刻合せをしていないと、タイマー時刻合せはできません。

バックライト(照明)の明るさ調節について

タイマー待機時バックライト(照明)の明るさを調節することができます。
以下の手順を参考にして設定してください。

①運転スイッチ「**切**」時にタイマーボタンを5秒以上押してください。
②「**ピピピッ**」とブザーが鳴り、液晶表示部の表示が右の図(出荷時の場合)へ切り換ります。
(操作音を消音設定している場合は、ブザーは鳴りません。)
③右の図の状態から室温調節ボタンの「**さげる**」「**あげる**」を押して、お好みの明るさに調節してください。バックライトの明るさは4段階に調節できます。
(火力表示が示す明るさは右の表を参照してください。火力表示は、2本ずつ増減します。)
④設定したい内容を表示させて、分ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)



火力表示	明るさ
微小 小 ・ ・ 中 ・ ・ 大	最も明るい
微小 小 ・ ・ 中 ・ ・ 大	明るい
微小 小 ・ ・ 中 ・ ・ 大	暗い(出荷時)
微小 小 ・ ・ 中 ・ ・ 大	最も暗い

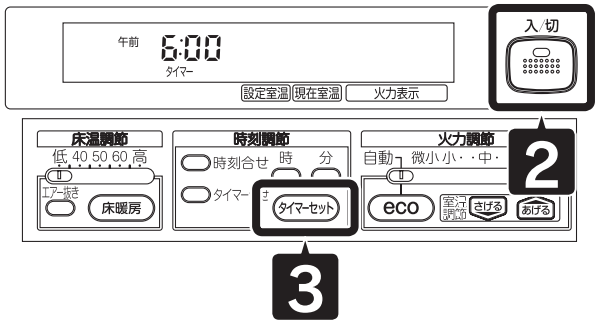
省電力表示機能の解除およびバックライト(照明)の点灯設定について

●運転スイッチが「**切**」のときに時計表示をさせたい場合は、運転スイッチが「**切**」のときに室温調節ボタンの「**さげる**」とecoボタンを10秒以上押してください。液晶表示部に『LEd oF F』と表示するので、室温調節ボタンの「**あげる**」を押してください。表示が『LEd on』に切り換り、省電力表示機能を解除します。
「**さげる**」を押すと『LEd oF F』と表示が切り換り、省電力表示機能が有効になります。設定したい内容を表示させて分ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)

使用方法

タイマーセット

●寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始します。
●タイマー時刻合わせをしていないとタイマーセットできません。
●運転スイッチが「**切**」のときはタイマーセットできません。



1 油タンクの送油バルブを開く

2 入/切 を押して、「入」にする

●運転ランプが点灯します。
●燃焼中にセットする場合、運転スイッチを「**入**」にする必要はありません。

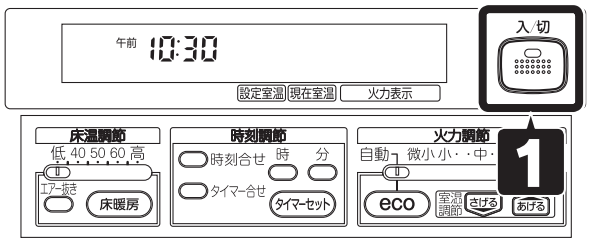
3 タイマーセットボタンを押す

●5秒間『**タイマー**』が点滅してタイマー時刻を表示します。
●『**タイマー**』が点灯に変わり、現在時刻を表示します。
（燃焼中にセットする場合、運転ランプが点滅し消火します。ストーブが冷えると運転ランプは点灯に変わります。）

4 お好みの運転を予約する

●自動／手動運転・eco運転・床暖房運転※を設定することができます。
※ 床暖内蔵タイプ

タイマーセットの解除



1 入/切 を押して「切」にする

●タイマーの表示と運転ランプが消え、バックライトが明るくなります。
（バックライトは10秒後暗くなります。）
●タイマー時刻前に点火する場合は、再度タイマーセットボタンを押してください。

ご注意

●タイマーをセットする場合は、周囲に可燃物があったり、その他危険な状態であったりしないことを確認してください。
●お出かけのときはタイマーをセットしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

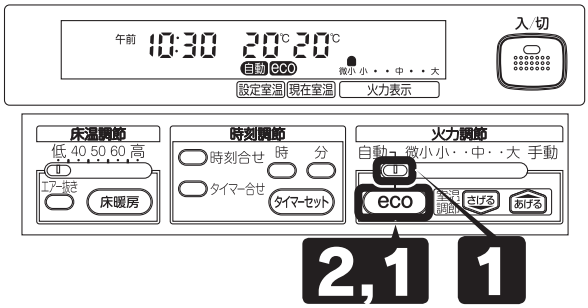
お知らせ

●停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマーが解除されます。

使用方法

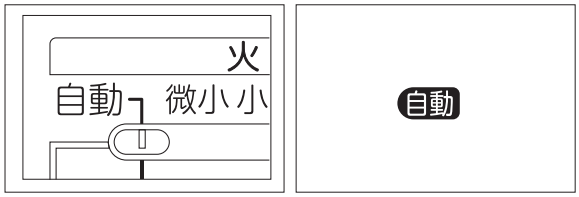
eco(エコ)運転(自動運転時)

●比較的暖かい時期など、設定室温より室温が上がりすぎるときにご使用ください。燃焼･消火を繰り返し、室温を調節します。
●eco運転は燃焼・消火を繰り返しますので、室温の変動が大きくなります。



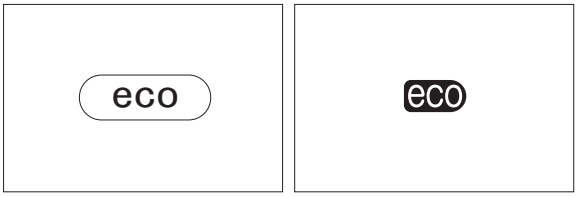
1 火力調節つまみを『自動』の位置に合わせる

●『自動』と設定室温および現在室温を表示します。



2 eco を押す

●『eco』を表示します。
●現在室温度が設定室温以上になると『eco』が点滅に変わり、その状態が2分間続くと、運転ランプが点灯から点滅に変わります。
●ストーブが冷えると運転ランプが点灯に変わります。
●現在室温が設定室温より2℃低くなると『eco』が点灯に変わり再点火します。ただし運転ランプが点滅しているときは、ストーブが冷えて運転ランプが点灯に変わるまで再点火しません。
●消火・点火条件を変更することができます。26ページ



eco(エコ)運転の解除

1 eco を再度押す

●『eco』が消えます。
eco運転は手動運転にすると自動的に解除されます。

お知らせ

●eco運転は一度セットすると記憶されます。運転スイッチを「**切**」にして消火しても解除されません。
●停電したときは、eco運転が解除されます。

お願い

●eco運転を連続して使用すると、ガラスにススが付くことがあります。ときどきeco運転を解除し、火力を中1段～大で1～2時間燃焼させてください。

eco運転時の消火・点火温度条件の調節について

●eco運転時の消火・点火の温度条件を調節することができます。
以下の手順を参考にして設定してください。

①運転スイッチが「**切**」の状態でecoボタンを3秒以上押してください。
（バックライトが消灯しているときや省電力表示中でも操作できます。）

②液晶表示部の表示が『Eco＊』（＊は設定値）へ切り換ります。

③『Eco＊』の状態から室温調節ボタンの「**さげる**」「**あげる**」を押すごとに、
「0」⇄「1」⇄「2」
と切り換ります。

④設定したい内容を表示させて分ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
（15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。）



表示例

	「0」※	「1」	「2」
消火温度 (設定室温に対して)	±0℃	+1℃	+2℃
点火温度 (設定室温に対して)	−2℃	−1℃	±0℃

※出荷時設定

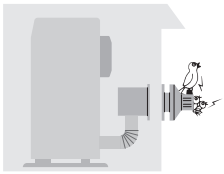
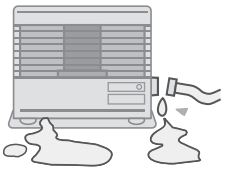
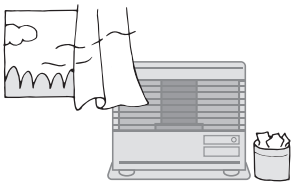
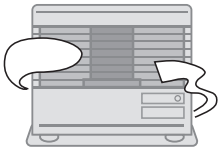
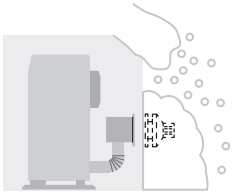
日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

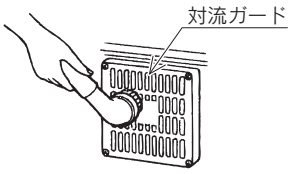
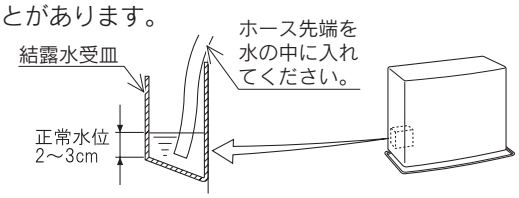
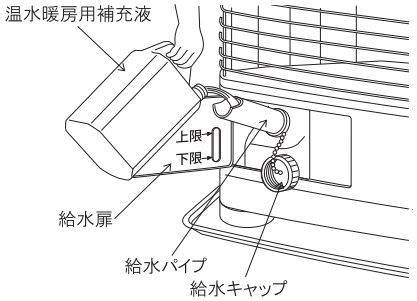
⚠注意

●必ず運転スイッチを「**切**」にしてストーブの運転を停止し、ストーブが冷えた状態で行ってください。

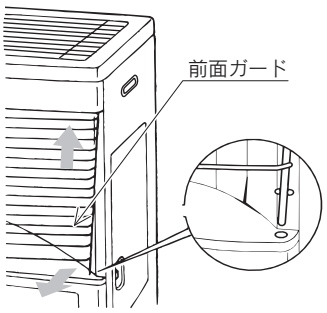
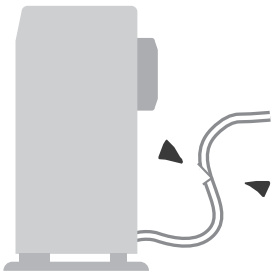
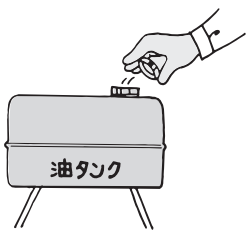
点検・手入れの必要事項、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方　法	
シーズンはじめ	**給気ホース・排気管**	●給気ホース・排気管の接続箇所がはずれていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。	
	給排気筒トップ	●室外の給排気筒トップが、鳥の巣・ビニール袋などでふさがれていないか点検します。	
使用ごと	**油漏れ･油のたまり･油のにじみ**	●ゴム製送油管や置台に油漏れ・油のたまり・油のにじみがないか点検します。	
	床暖内蔵タイプ **水漏れ**	●温水配管に水漏れがないか点検します。	
	周囲の可燃物・引火物	●ストーブの上・周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物・引火物がないか点検します。	
	排ガスの漏れ	●排ガスの臭いや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていますと危険です。	
	給排気筒トップ	●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。	

日常の点検・手入れ

<table>
<tr><th>時期</th><th>点検・手入れ項目</th><th>方　法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">週に1回以上</td><td>対流ガード</td><td>●ストーブ背面の対流ガードに付いたほこりを掃除機などで取り除きます。

</td></tr>
<tr><td>床暖内蔵タイプ
結露水
ソフト床暖房パネル３畳以上の使用でドレンホースの栓をはずしている場合のみ</td><td>●ストーブ背面にある結露水受皿内の水を点検します。
・水が少ない場合には、取りはずして水を入れてください。
・水が多い場合には、取りはずして正常水位まで排水してください。
・ソフト床暖房パネルが３畳以上の場合やお部屋の湿度が高い場合、結露水量が増加することがあります。

</td></tr>
<tr><td>床暖内蔵タイプ
循環水
温水暖房用補充液、または水道水を補給してください。
循環水の水位は、設置後、1 ～ 3 ヶ月程度の間は、配管やソフト床暖房パネル内の空気が抜けたり、ソフト床暖房パネル配管がなじみ安定したりすることにより、通常より水位が下がりやすくなっていますが異常ではありません。ソフト床暖房パネルの膨張などにより、1年ほどの期間は特に不凍液の補給が多く必要になります。
※不凍液中の防錆・防食成分は、使用していると空気中の酸素に触れ、徐々に低下していきます。それを補うのが温水暖房用補充液です。</td><td>●循環水の水位を確認し、下限以下の場合は、次のように補充します。
1.給水扉を開く
2.給水口キャップをはずす
3.給水パイプを引き出す
4.給水パイプを手で押えながら、温水暖房用補充液を「上限」まで補給する


●循環水の水位が「下限」以下まで低下すると、液晶表示部に『E - 04』のチェックモードが表示されます。
●ソフト床暖房パネル使用の場合は、使用部材が安定するまで水位が下がりますので、ときどき補給してください。
ご注意
●使用しているときに、水位がいちじるしく低下する場合は、温水配管部の漏れを確認してください。
●循環水は「上限」を超えて補給しないでください。使用中に循環水があふれることがあります。
●不凍液での補給はしないでください。不凍液の主成分（凍結防止）は蒸発せず水分が蒸発して循環水が減るため、不凍液を補給すると濃度があがり故障の原因になります。
●循環水は、温水暖房用補充液を補給した場合、6 ～ 7 年をめやすに入れ替えてください。水道水を補給した場合、2 ～ 3 年をめやすに入れ替えてください。入れ替えについては、お買い求めの販売店にご相談ください。</td></tr>
</table>

時期	点検・手入れ項目	方　法
月に1回以上	**ストーブ外装** 安全のため、電源プラグはコンセントから抜いて行ってください。	●ストーブ・置台・反射板などのほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ●シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。 **前面ガードのはずしかた** ●前面ガードの右側を持ち上げ、棒を下部の穴から抜き、手前に引きながら下げて開きます。 
1シーズンに2~3回	**ゴム製送油管** **温水用ツインチューブ**	●ゴム製送油管や温水ツインチューブ(※)にひび割れが生じていないか点検します。少し曲げて、ひび割れや亀裂があった場合は交換してください。 ●ゴム製送油管や温水ツインチューブ(※)は経年劣化しますので3年に一度は新しい物に交換してください。 ※ 床暖内蔵タイプ ●交換はお買い求めの販売店に依頼、または最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。 
	電源プラグ	●電源プラグにほこりが付着していないか点検します。
給油のとき	**油タンク**	●油タンク内に水やゴミがたまっていないか点検します。 ●油タンク内の水抜き、ストレーナ(ろ網)の掃除は、油タンクに付属している取扱説明書に従って行ってください。 

定期点検

●機器は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、お買い求めの販売店で定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めの販売店にご相談ください。

定 期 点 検

定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置および運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検などを行います。
安全にお使いいただくために、製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

お申し込み先

お客様→お買い求めになった販売店または最寄りの工場・支店・営業所。

定期点検費用

定期点検の費用についてはお買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換および修理などが必要な場合は、処置内容および費用についてお客様にご相談申しあげます。

定期点検の内容

定期点検の内容	項　目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の設置・使用状態 ●送油経路部の油漏れ(ゴム製送油管含む) ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり ●温水経路部の水漏れ 床暖内蔵タイプ
安全装置および運転動作の点検・確認	●安全装置の働き ●運転動作の点検 ●部品や動く部品の働き
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●点火ヒータなどの点検 ●不完全燃焼防止装置(検知部)の点検 ●給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検 ●バーナ・燃焼リング・赤熱筒などの点検 ●各種送風機の点検 ●各種パッキンの点検 ●ガラスの点検(劣化の状態により交換の場合もあります。) ●循環ポンプの点検 床暖内蔵タイプ
製品の清掃・整備	●本体内 ●対流ガード・対流用送風機 ●油タンクの水抜き ●送油経路
床暖内蔵タイプ **循環水の点検・交換**	●循環水は温水暖房用補充液を補給した場合、6～7年をめやすに入れ替えてください。 水道水を補給した場合、2～3年をめやすに入れ替えてください。 ●凍結防止および腐食防止のために当社純正の不凍液をご使用ください。

設計上の標準使用期間について

設計上の標準使用期間の表示と説明

●この機器の設計上の標準使用期間を８年と算定しており、適切な点検を行わず、この期間を超えて使用すると経年劣化による発火・けがなどの事故の原因になるおそれがあります。
●設計上の標準使用期間とは、製品ごとに設定した設計的に想定した標準的な使用(下記の<設計上の標準使用期間の算定の根拠>参照)による使用期間をいいます。
●設計上の標準使用期間を過ぎての製品の使用については、経年劣化により安全性が損なわれ、ひいては重大事故に至るおそれがあります。そのため設計上の標準使用期間は、使用者が不具合なく製品を使用していても点検・取替えの検討を開始するためのめやす(指針)とするものです。また、設計上の標準使用期間は、有料保証期間とは異なります。

設計上の標準使用期間の算定の根拠

この機器の設計上の標準使用期間は、製造年月を始期とし、日本産業規格 JIS S 2073 の「**家庭用密閉燃焼式石油温風暖房機の標準加速モード及び試験条件**」に基づき右表の標準使用条件を想定し、当社において耐久試験などを行った結果算出された数値などに基づき経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した期間を終期として、設計上の標準使用期間を設定しています。

標準使用条件

項目	条件
1．年使用時間	2,500時間
2．換気回数	1回／h
3．使用条件	―
・電源電圧／周波数	100V ／ 50Hz/60Hz
・暖房設定温度	22℃

標準的な使用条件と異なる使用をした場合の留意点

●製品の使用条件または使用頻度が、その根拠となった数値よりも高い場合
●製品が目的以外の用途で使用された場合
●標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合
●業務用(ホテル・喫茶店・理髪店・美容室・飲食店・事務所など)で使用した場合
●その他経年劣化を特に進める事情が存在する場合
上記のような使用をした場合は、設計上の標準使用期間よりも短期間で製品が経年劣化し、安全上支障が生じるおそれが多くなります。

清掃などの日常的に行うべき保守の内容とその方法

●製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全確認を行っていただくようにお願いします。
●点検・手入れは必ず消火後、電源プラグを抜き、製品が冷えてから行ってください。
●点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
●部品の分解・整備は絶対にしないでください。
●油漏れなどの異常がある場合は、販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
●詳しくは日常の点検・手入れの項を参照してください。

あんしん点検に関する事項

設計上の標準使用期間の８年になりましたらあんしん点検(有料)を受けてください。
●点検費用について
・点検費用はお客様にご負担いただくことになります。
・点検費用は技術料、出張料などを合計した金額となります。
●各地域の点検などに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所で対応します。
●あんしん点検では、その時点での技術基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。また、あんしん点検は整備ではありません。
●あんしん点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途整備・修理費用が発生します。
●あんしん点検後、整備に必要な部品は補修用性能部品とは異なることがあります。
●あんしん点検の結果、修理が必要となった場合は修理が完了するまで使用できません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。

現　象		原　因
点火時・消火時	初めて使用するときやシーズン始めに、煙や臭いが出る	●耐熱塗料やほこりが焼けるためです。 異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	●本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。 異常ではありません。
	点火時に「ポン」という音がする	●着火音で、異常ではありません。
燃焼時	青炎の中に赤火が混じる	●異常ではありません。
	炎の一部が揺らぐ	●異常ではありません。
	床暖内蔵タイプ 床暖房の温調に合わせて「ピチピチ」や「カンカン」という音が繰り返しする	●床暖房用熱交換器に高温の排ガスが流れたり止まったりするために出る金属の膨張・収縮音です。 異常ではありません。
	「カチカチ」という音がする	●電磁ポンプの運転音で、異常ではありません。
	赤熱筒に色ムラがある	●異常ではありません。
	対流用送風機が停止する	●火力調節を「**自動**」にしている場合、火力に応じて停止する場合があります。 異常ではありません。
その他	ガラスが白くなる	●灯油中の成分がガラスに付着するためです。 異常ではありません。
	液晶表示部に、1分毎に『88』または『88 8』を1秒間隔で5回点滅表示する	●点検時期お知らせ機能による点検時期のお知らせです。 故障ではありません。37ページ
	ストーブが停止後に何も表示しなくなった	●省電力表示中です。異常ではありません。18ページ
	床暖内蔵タイプ 着火して1～2分後に運転ランプが点滅して消火、数分後に運転ランプが点灯に変わり、1～2分後に再着火した。	●リトライ運転で再着火しました。異常ではありません。

不完全燃焼防止装置について

不完全燃焼防止装置（検知部）は、室内のガスを検知するセンサーです。センサーはストーブ本体以外の燃焼ガスにも影響を受けます。ストーブを設置している部屋が以下のようになっていないか確認してください。

●炭火やガス炊飯器、コンロなど他の燃焼機器を室内で使用している。

●ストーブの周囲に部屋の換気口があるなど、排ガスが室外から流入している。

当てはまる場合は一度使用を中止して充分に換気し、原因を取り除いてから使用してください。

異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

現象／原因	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立ち上がる	液晶表示部に表示されたチェックモード								処置の方法	参照ページ
				E-00	E-03 E-05 E-33 E-35 OIL	E-CC E-60 CCCC (点滅)	E-02	E-07	E-16 E-26	E-19	E-04		
電源プラグがコンセントから抜けている	●											●電源プラグをコンセントに確実に差し込む	17
油タンクに灯油がない		●			●							●油タンクに給油する	15
停電があった				●								●運転スイッチを押しなおす	34
油タンクの送油バルブが閉じている		●			●							●送油バルブを開く	34 35
定油面器の安全装置が作動している		●			●							●リセットボタンを押す	16
対流ガードにほこりがたまっている								●				●掃除をする	28 34
対流ガードがカーテンでふさがっている								●				●カーテンを取り除く	34
給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●						●給排気筒トップ先端の遮へい物を取り除く	27
地震や強い衝撃があった							●					●ストーブ周囲、油漏れ、給排気筒を点検する	34
床暖内蔵タイプ 温水配管がつぶれている 温水バルブが閉じている									●			●つぶれをなおす ●温水バルブを開く	34
排気管が抜けている						●				●		●確実に接続する	35
床暖内蔵タイプ 循環水が不足している											●	●循環水を補給する	28 35

●以上の方法で点検し、処置しても直らないときは使用を中止し、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
●修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるチェックモードをご連絡ください。

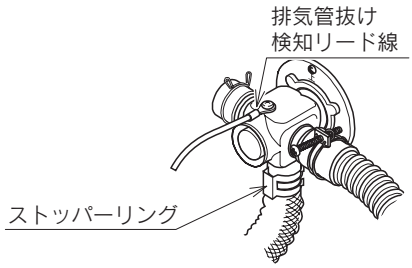
故障かな？と思ったら

安全装置　異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。
異常燃焼を長時間続けますとバーナ部などにカーボンが付着し、故障の原因となりますので、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

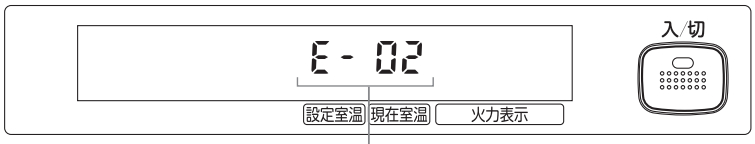
安全装置のなまえ 作動の原因	チェックモード	処置の方法
対震自動消火装置 ●地震(震度5程度以上)のとき ●強い振動や衝撃を受けたとき	E-02	●ストーブの周囲や給気管・排気管のはずれや緩み・油漏れなどの異常がないことを確認し、再点火操作してください。
停電安全装置 ●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき	E-00	●通電後、再点火操作してください。
過熱防止装置 ●対流ガードにほこりがたまったり、対流ガードがカーテンなどでおおわれたとき	E-07	●対流ガードの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火してください。 28ページ
点火安全装置・燃焼制御装置 ●点火不良	E-03 E-33	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ・ゴム製送油管に空気だまりがないか。 15ページ ・定油面器の安全装置が作動していないか。 16ページ ・再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
●途中で火が消えたとき	E-05 E-35	
床暖内蔵タイプ **温水過熱防止装置** ●温水回路が閉止されたとき	E-16 E-26	●温水バルブが開いているか、温水配管がつまったり、つぶれたりしていないか確認し、再点火操作してください。
不完全燃焼防止装置 ●不完全燃焼になった排ガスが室内に漏れたとき	積算作動回数1～2回 E-CC E-60	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・結露水受皿の水が不足していないか（※）、排気管がはずれていないか、他の燃焼機器の影響を受けていないか確認してください。 27・28・32ページ ・給排気筒トップの先端がふさがれていないか。 27ページ ・再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 ※ 床暖内蔵タイプ
【連続不完全燃焼通知機能】 ●連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数3回 CCCC （点滅）	
【再点火防止機能】 ●連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数4回 CCCC （点灯）	●室内の換気を行い、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 ●『CCCC』が点灯するとストーブが使用できなくなります。

その他の装置

安全装置のなまえ 作動の原因	チェックモード	処置の方法
排気管抜け検知装置 ●排気管接続部のはずれ ●排気管抜け検知リード線がはずれたり断線したりしたとき ●ストッパーリングが正しく取り付けられていないとき	E- 19	●排気管や排気管抜け検知リード線を点検し、確実に接続してから再点火操作してください。 ●ストッパーリングが正しく取り付けられているか確認してください。 
床暖内蔵タイプ **循環水検知装置** ●循環水が不足したとき	E-04	●補給後、再点火操作してください。 28ページ
油切れ検知装置 ●ストーブに灯油がきていないとき	OIL	●次のことを確認し、再点火操作してください。 ・油タンクに灯油はあるか。 ・油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ・ゴム製送油管に空気だまりがないか。15ページ ・定油面器の安全装置が作動していないか。16ページ
油面検知装置 ●定油面器の油面が上限を超えたとき	E-74	●油タンクの送油バルブを閉じて、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

チェックモード



チェックモード表示部

チェックモードに下記のような表示が出たときは、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

チェックモード	原　因	処置の方法
E-09	点火不良(E-03、E-33)が2回連続して起こった。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-11	電磁ポンプが動く前に炎を検知した。(フレームロッドの短絡)	
E-12	運転中にバーナサーミスタまたは点火ヒーターが断線した。	
E-13	運転中にバーナサーミスタの温度が低下した。	
E-14	運転中に室温が異常高温になった。	●換気をして室温を下げる。 再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-15	運転中に室温サーミスタが断線した。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場･支店･営業所へご連絡ください。(修理までの間､手動運転でストーブ運転は可能です。その間は現在室温表示部に『 -- 』が表示されます。)
床暖内蔵タイプ E-17	床温サーミスタが断線した。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 (修理までの間、ストーブ運転は可能です。)
E-18	燃焼用送風機が動作しなくなった。	●お買い求めの販売店または最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-25	バーナサーミスタが短絡した。	
E-32	点火前にポット内が異常高温だった。	
E-57	不燃防(検知部)が故障した。	
E-58	不燃防(検知部)が断線した。	

※現在室温表示部に『 -- 』の表示が出たときは､『E-15』を参照してください。
なお、表示部の表示が消えた状態(省電力表示)から運転スイッチを「入」にすると現在室温が『 -- 』表示になり、その後現在室温を表示しますが異常ではありません。

点検時期お知らせ機能

下記のチェックモードは点検時期お知らせ機能の表示です。故障ではありません。

●この機器には、点検時期お知らせ機能が搭載されております。
●ストーブの使用時間が設計上の標準使用期間の8年相当を経過すると表示部に『88』を表示(1分ごとに5回点滅)して、点検時期をお知らせします。
●故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。
●点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
点検のご案内をさせていただきます。
●あんしん点検を受けてから3年相当の使用期間が経過すると表示部に『888』を表示(1分ごとに5回点滅)して点検時期を再度お知らせします。

チェックモード	原　因	処置の方法
1分毎に1秒間隔で5回点滅表示する 88 888	点検時期になった (設計上の標準使用期間経過)	●故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。 ●点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。 点検のご案内をさせていただきます。

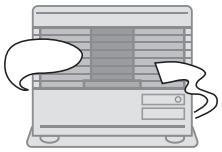
故障かな？と思ったら

このような状態のときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じて販売店にご連絡ください

●使用される場所や条件または長期間の使用により、下記のような状態が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

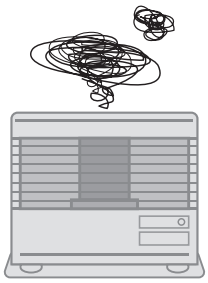
排ガスの臭いがしたり、目がチカチカしたりする

●排ガスが漏れているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れていますと、危険です。



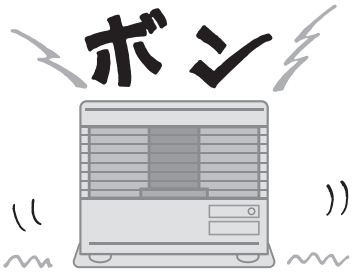
黒煙を出して燃える

●異常燃焼しています。



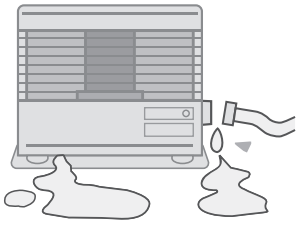
点火・燃焼・消火するときに「ボーン」という大きな音がした

●ストーブが損傷したり、パッキンが飛散したりしているおそれがあります。



置台に油が漏れている

●送油配管より油が漏れています。



部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

●部品は必ず当社純正部品を使用してください。
●故障したままで使用しないでください。
●故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

消耗、劣化しやすい部品

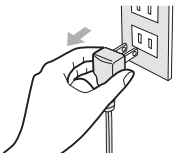
項　目	内　容
使用時間により交換が必要な部品	点火ヒータ・排気管接続用Oリング(FKM-70(フッ素)(JIS B 2401-1)P50) 燃焼リング・赤熱筒・各種パッキン・循環ポンプ(※)・ガラス 不完全燃焼防止装置(検知部:交換のめやす10年)　※ 床暖内蔵タイプ
環境により劣化しやすい部品	給排気筒系部品・各種制御基板・燃焼用送風機・対流用送風機 ゴム製送油管
不良灯油を使用されて劣化しやすい部品	電磁ポンプ・定油面器・電磁弁

保管

●長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。

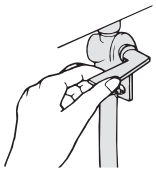
1 電源プラグをコンセントから抜く

●濡れた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 ストーブ外装、対流ガード、反射板の掃除をする 28〜29ページ

3 油タンクの送油バルブ、温水バルブ(※)を閉じる ※床暖内蔵タイプ



4 ストーブは据え付けたまま保管する

●どうしても取りはずして保管するときは、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
●次シーズンに据え付けるときには、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

仕様

型式の呼び		UFH-6411URF	
種類		ポット式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式		電気点火	
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態		最大	最小
燃料消費量	床暖房・ストーブ同時運転	7.22kW(0.702L/h)	床温調「ON」時　2.98kW(0.29L/h) 床温調「OFF」時　2.04kW(0.198L/h)
	ストーブ単独運転	7.22kW(0.702L/h)	2.04kW(0.198L/h)
発熱量	床暖房・ストーブ同時運転(温調ON時)	26,000kJ/h	10,740kJ/h
	ストーブ単独運転	26,000kJ/h	7,350kJ/h
熱効率	床暖房・ストーブ同時運転(温調ON時)	87.9%	81.8%
	ストーブ単独運転	86.0%	69.7%
暖房出力	床暖房・ストーブ同時運転(温調ON時)	6.35kW(循環水量108L/h)	2.44kW(循環水量108L/h)
	ストーブ単独運転	6.21kW	1.42kW
最大 床暖房出力	床暖房・ストーブ同時運転	1.63kW(循環水量108L/h)	
本体水容量		1.7L	
床暖房用熱交換器の最高使用圧力		大気開放	
外形寸法		高さ590mm　幅750mm　奥行391mm（置台を含む）	
質量		33kg	
温度ヒューズ		139℃	
電流ヒューズ		筒型30mm　10A　1個、筒型20mm　5A　1個	
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定格消費 電　力 (50/60Hz)	床暖房・ストーブ同時運転	最大(点火初期に短時間発生)620/620W　点火時335/340W　燃焼時68/68W	
	ストーブ単独運転	最大(点火初期に短時間発生)620/620W　点火時335/340W　燃焼時42/42W	
待機時消費電力 (50/60Hz)		0.8/0.8W	
電源コードの長さ		約2m	
給排気筒の型式の呼び		FWT-7M-6	
給排気筒の呼び径		D49	
給排気筒の壁貫通部の孔径		83～96mm	
排気温度		260℃以下	
床パネルの接続面積		最大燃焼時1～18.5㎡(1/4～11畳)、最小燃焼時1～8.5㎡(1/4～5畳)	
温水配管接続口		外径　8mmタケノコ	
安全装置		対震自動消火装置・停電安全装置・温風過熱防止装置・点火安全装置 燃焼制御装置・温水過熱防止装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置		排気管抜け検知装置・循環水検知装置・油切れ検知装置・油面検知装置	
付属品		置台・壁固定金具・上面ガード・遮熱板・ワイヤーバンド大・ゴム製送油管(1.2m)・ワイヤーバンド小 給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング・ツインチューブ(2.5m) ワンタッチクランプ・4×25タッピングねじ・取扱説明書・工事説明書	

仕様

型式の呼び	FFR-7011RF	
種類	ポット式・強制給排気形・強制対流形・家庭用	
点火方式	電気点火	
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)	
燃焼状態	最大	最小
燃料消費量	8.14kW(0.791L/h)	2.16kW(0.21L/h)
発熱量	29,300kJ/h	7,780kJ/h
熱効率	86.0%	74.7%
暖房出力	7.00kW	1.61kW
外形寸法	高さ590mm　幅750mm　奥行379mm（置台を含む）	
質量	27kg	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力(50/60Hz)	最大(点火初期に短時間発生)620/620W 点火時335/340W　燃焼時42/42W	
待機時消費電力(50/60Hz)	0.8/0.8W	
電源コードの長さ	約2m	
給排気筒の型式の呼び	FWT-7M-6	
給排気筒の呼び径	D49	
給排気筒の壁貫通部の孔径	83～96mm	
排気温度	260℃以下	
電流ヒューズ	筒形30mm 10A 1個、筒形20mm 5A 1個	
安全装置	対震自動消火装置・停電安全装置・過熱防止装置・点火安全装置 燃焼制御装置・不完全燃焼防止装置	
その他の装置	排気管抜け検知装置・油切れ検知装置・油面検知装置	
付属品	置台・壁固定金具・上面ガード・遮熱板・ワイヤーバンド大・ゴム製送油管(1.2m)・ワイヤーバンド小 給排気筒セット・排気管断熱カバー・ストッパーリング 4×10タッピングねじ・4×25タッピンねじ・取扱説明書・工事説明書	

据付け・移設

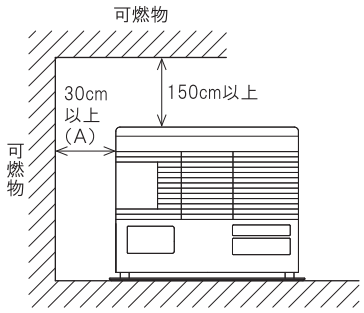
据付け・移設工事は販売店に依頼する

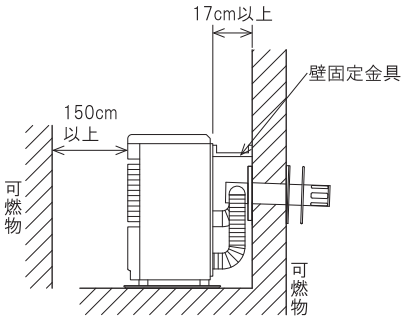
●据付けや移設工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

●据付けについては、火災予防条例・電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「**安全のために必ずお守りください**」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「**標準据付例**」については下図をご覧ください。

【機器から周囲の可燃物までの離隔距離】
・機器右側面と壁面は保守点検のため、30cm以上離してください。
・A寸法を10～30cmまで近づける場合は、前面ガードに付属の遮熱板を取り付けてください。



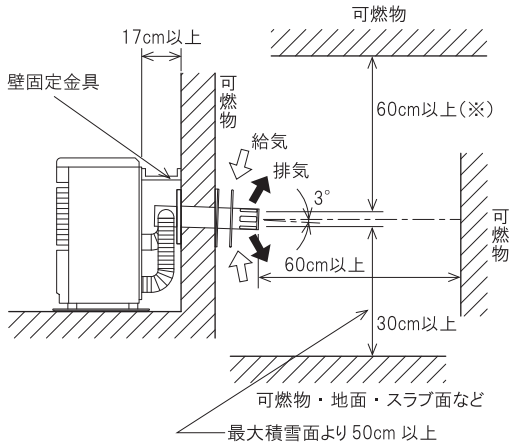


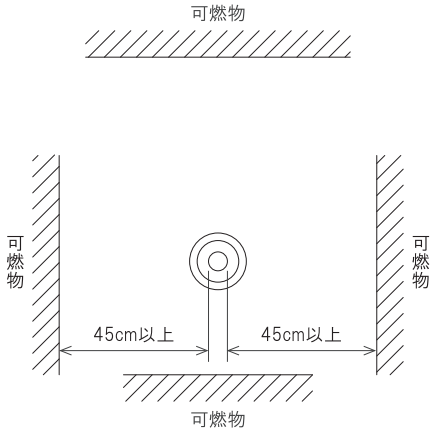
お願い

●上図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。

据付け・移設

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】





注(※) 不燃材を使用する場合は 30cm 以上とする。

・給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。
・雪の多い地方では、最高積雪面よりも 50cm 以上離れる場所に、給排気筒を取り付けてください。
・不燃物の場合でも性能維持のため、上図離隔距離としてください〔(※)部は除く〕。

給気管・排気管を延長する場合の注意

●給気管・排気管を延長する場合は、3m3 曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

積雪地区における注意

● 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。
また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

据付け後の確認

●据付けが終わりましたら、工事説明書の「**安全のために必ずお守りください**」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられていることを確認してください。
●給気管・排気管を延長設置している場合、延長長さは3m以下、曲がりは3箇所以下になるようにしてください。

床暖内蔵タイプ

ソフト床暖房パネルの敷設

●ソフト床暖房パネル付属の取扱説明書に従って敷設してください。
●ソフト床暖房パネルの最大接続畳数は一系統 4.5 畳まで、二系統 3 畳+3 畳までです。

お願い

●ソフト床暖房パネルには重い物、テーブル、机などは載せないでください。
●当社純正のソフト床暖房パネルおよび金属床暖房パネル(既設品入替時)以外には、接続しないでください。

床暖内蔵タイプ

漏れ検査(水圧試験)

●すべての接続が終了しましたら必ず漏れ検査を行い、漏れのないことを確認してください。
●漏れ検査の条件は下記の表に従ってください。

床暖房パネル	配管	検査圧力
ソフト床暖房パネル	ゴム管	50kPa(0.5kgf/㎠)

検圧時間
試験圧力で 60 分以上放置して、圧力降下が 3%以内とする。
各配管接続部に漏れがないか目視で確認する。

据付け・移設

床暖内蔵タイプ

循環水の補給

不凍液の割合

●循環水には凍結防止および腐食防止のため、必ず当社純正の温水暖房用不凍液を使用してください。
他の不凍液を使用すると、配管内部に不純物が付着し機器の寿命が短くなることがあります。
●不凍液に付属のシールに給水年月日を記入し、機器の給水扉内側のシール貼付欄に貼り付けてください。
●不凍液の割合は、各地の凍結温度条件により選定してください。
不凍液割合と凍結温度は不凍液の容器に記載しています。
●補充は必ず当社純正の温水暖房用補充液を使用してください。

不凍液の必要量

なまえ	容量 (L)	なまえ		容量 (L)
ストーブ本体	1.7	ソフト床暖房パネル	4.5 畳用	3.0
			3 畳用 （左右取付兼用）	2.4
ツインチューブ 配管往復 1m 当り	0.1		3 畳用 （正方形）	1.9
			2 畳用	1.6

●上記より全容量を計算します。

（例）ソフト床暖房パネル 4.5 畳用敷設、配管片道全長 5m の場合

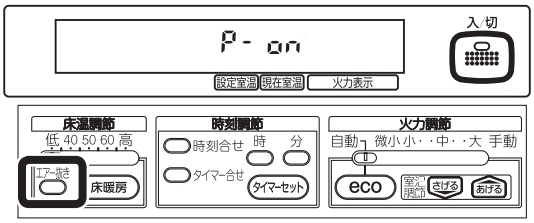
全容量：1.7L(ストーブ)+3.0L(床暖房パネル)+0.1L(配管)×5
＝1.7+3.0+0.5＝5.2L

お願い

●不凍液は腐食防止のため、暖かい地域でも必ず入れてください。
●設置時不凍液を入れたのち蒸発で水位が下がった場合は、温水暖房用補充液を補給してください。
●循環水は温水暖房用補充液を補給した場合、6～7年をめやすに入れ替えてください。
水道水を補給した場合、2～3年をめやすに入れ替えてください。
入れ替えについては、お買い求めの販売店にご相談ください。
●不凍液は高温・高濃度で高温部に触れると燃えますので注意してください。
●不凍液を万一誤って飲み込んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。

床暖内蔵タイプ

給水およびエアー抜きの方法



5,9

●循環水の補給およびエアー抜きを次のように行ってください。

1 運転スイッチが「切」になっていることを確認する

2 ストーブ背面にある往きバルブ・戻りバルブが「閉」の状態になっていることを確認する

3 ストーブ前面の給水扉を開き、給水パイプを引き出す

4 給水パイプを手でおさえながら、循環水を水タンク「上限」まで入れる

5 操作部のエアー抜きボタンを押す

・液晶表示部に『P-on』を表示して、2 分間循環ポンプが運転します。
・2 分間水タンクの水位が「**下限**」以上の場合は、循環ポンプが停止し、液晶表示部が現在時刻表示に戻ります。
・この間に水タンクの水位が「**下限**」より下がった場合は、液晶表示部に『P-oF』を表示して、「**ピピピッ**」音を発して循環ポンプが停止しますので、再度循環水を「**上限**」まで入れてください。
（循環水を「**下限**」以上入れると「**ピピピッ**」音が停止し、自動的に循環ポンプが運転します。）
その後、2 分間水タンクの水位が「**下限**」より下がらなければ、循環ポンプが停止し、液晶表示部が現在時刻表示に戻ります。

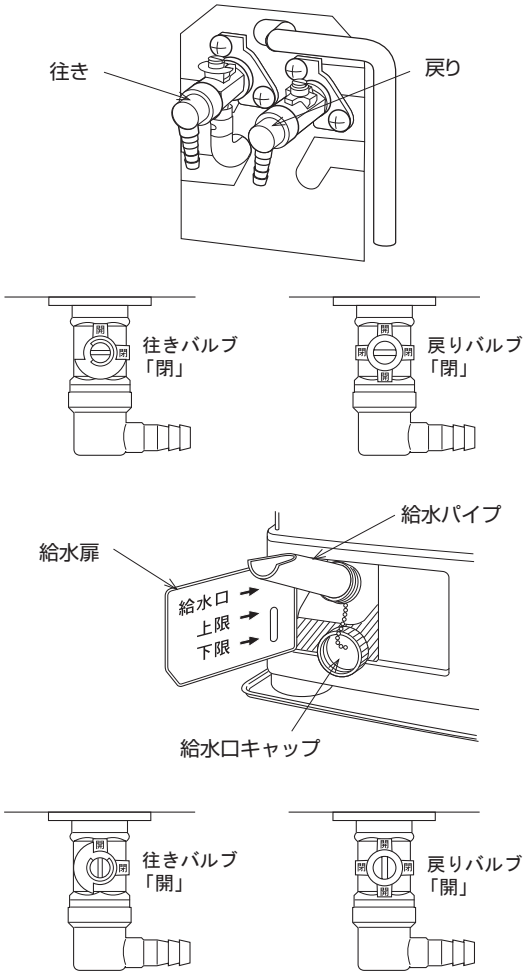
6 再び循環水を水タンク「上限」まで入れる

7 ストーブと床暖房パネルを接続する

8 往きバルブ・戻りバルブを「開」の状態にする

9 上記5の操作を再度行う

・循環ポンプが停止し、液晶表示部が現在時刻表示に戻ればエアー抜きは完了です。



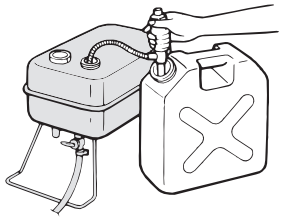
お願い

●循環量をバルブで調節する場合は、必ず戻りバルブで行ってください。往きバルブでは行わないでください。
往きバルブで行った場合、流水音がすることがあります。
●循環水は、温度が上昇すると膨張しますので、水タンクの上限を越えないよう補給してください。
●エアー抜きを途中で終了する場合は、いずれかのボタンを押してください。(液晶表示部が現在時刻表示に戻ります。)
●温水配管内のエアー抜きが不充分ですと、循環水の循環する音が大きくなることがあります。
この場合は、再度エアー抜きを行ってください。

試運転

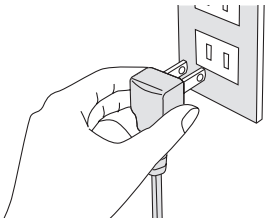
試運転は、販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

運転準備

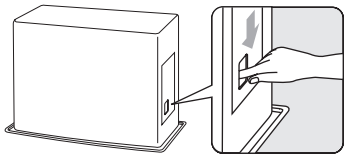


1 油タンクに給油する

15 ページ



2 電源プラグをコンセントに差し込む



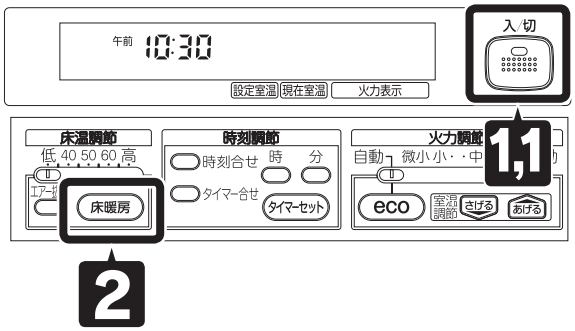
3 定油面器のリセットボタンを押す

16 ページ

確認

- 油タンク・送油管・ゴム製送油管から油漏れはありませんか。
- 置台の上などに油がこぼれていませんか。
- 温水配管から水漏れはありませんか。床暖内蔵タイプ
- 温水配管のバルブが開いていますか。床暖内蔵タイプ

運転



入/切

1 を押して、「入」にする

- 運転ランプと表示部のバックライトが点灯します。
- ゴム製送油管内に空気がたまっていることがありますので、ゴム製送油管を振って空気を抜いてください。
- 約100秒～4分間予熱後、着火します。約2分30秒分間予備燃焼を行った後、対流用ファンが回ります。

床暖内蔵タイプ

2 床暖房ボタンを押す

- 『床暖房』を表示します。
- 数十分後に温水配管が温まります。

消火

入/切

1 を再度押して、「切」にする

- 運転ランプが消灯します。(10秒後表示部のバックライトが暗くなります。)
- 対流用ファンは機器が冷えるまでの8分間回り続けます。

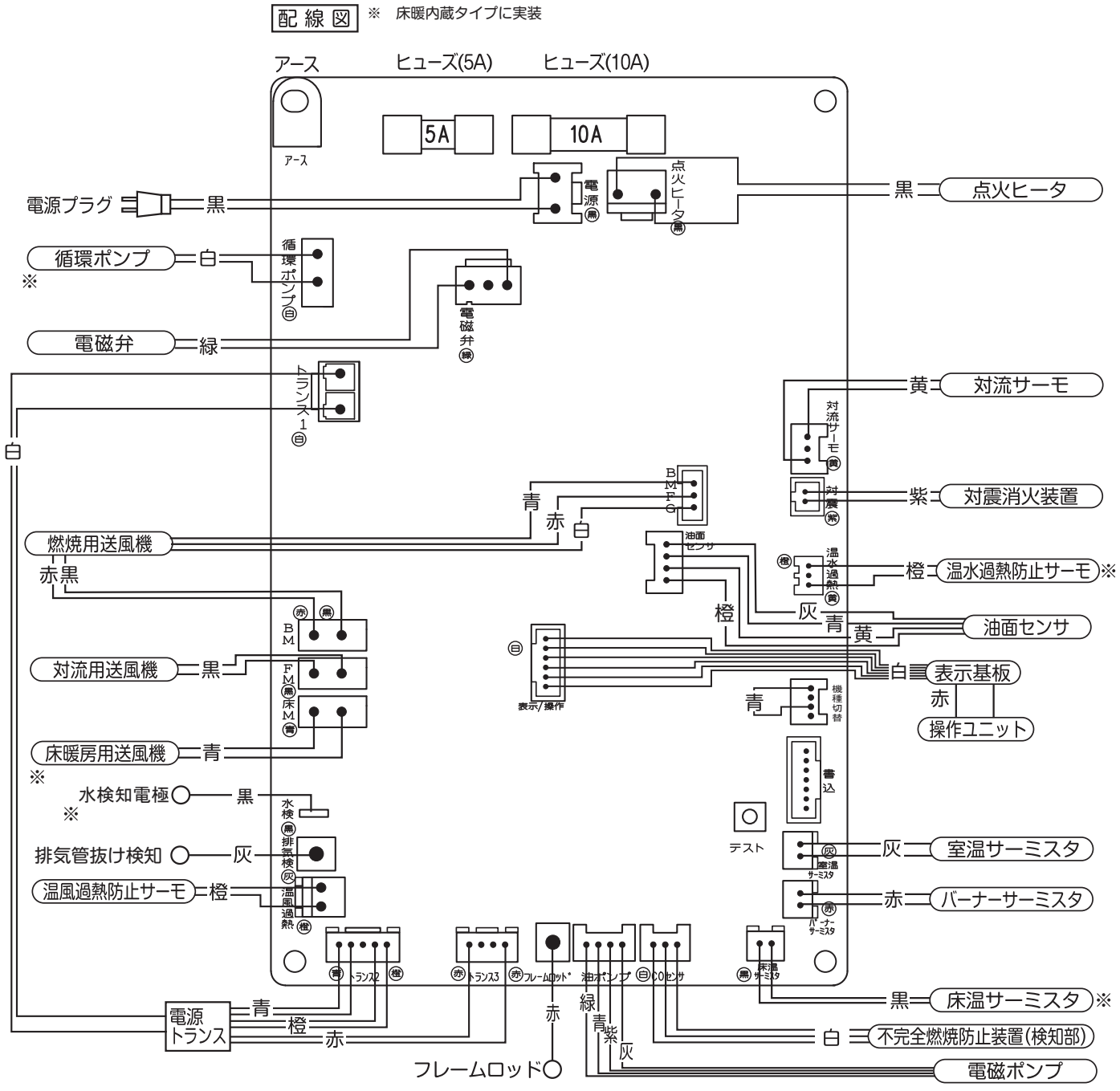
正常運転のめやす

●正常運転のめやすとして 38ページ のような現象がないことを確認します。

お願い

●機器より煙や臭いが出ることがありますが、燃焼室の塗装やパッキン類が焼けるためで異常ではありません。最大燃焼で数十分運転すると消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

配線図


配線図
※ 床暖内蔵タイプに実装
アース
ヒューズ(5A)
ヒューズ(10A)
5A
10A
電源プラグ
黒
循環ポンプ
白
※
電磁弁
緑
トランス1
白
白
燃焼用送風機
赤黒
対流用送風機
黒
床暖房用送風機
青
※
水検知電極
黒
※
排気管抜け検知
灰
温風過熱防止サーモ
橙
電源トランス
青
橙
赤
フレームロッド
赤
緑
青
紫
灰
電磁ポンプ
白
不完全燃焼防止装置(検知部)
黒
床温サーミスタ※
赤
バーナーサーミスタ
灰
室温サーミスタ
テスト
書込
青
機種切替
白
表示基板
赤
操作ユニット
表示/操作
黄
油面センサ
灰
青
橙
温水過熱防止サーモ※
紫
対震消火装置
黄
対流サーモ
青
赤
白
燃焼用送風機
点火ヒータ
黒
電源
点火ヒータ
電磁弁
循環ポンプ
トランス1
BMFG
油面センサ
温水過熱防止サーモ
対震消火装置
対流サーモ
BM
FM
床M
水検
排気検
温風過熱
トランス2
トランス3
フレームロット
油ポンプ
CO2センサ
床温サーミスタ
バーナーサーミスタ
室温サーミスタ
書込
機種切替
表示/操作

●このページは空白です。

●このページは空白です。

長府石油暖房機 保証書(販売店様控)

型　　名	UFH-6411URF/FFR-7011RF		
★製造番号	No.	保証期間	1　年

★お買い上げ日	年　月　日	★販売店	住所・店名
★お客様	お名前　様		
	ご住所		
	電話　(　)		電話　(　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

(1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。

(2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

△切り取り線▽

株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　TEL(083)248-1111

長府石油暖房機 保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型　　名	UFH-6411URF/FFR-7011RF		
★製造番号	No.	保証期間	1　年

★お買い上げ日	年　月　日	★販売店	住所・店名 電話　( )
★お客様	お名前　様 ご住所 電話　( )		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

(1)住宅用途以外で使用した場合の不具合
(2)使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
(3)一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
(4)専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
(5)弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
(6)建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
(7)海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
(8)動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
(9)火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
(10)消耗部品の消耗に起因する不具合
(11)公害による不具合
(12)電気・燃料等の供給トラブル等に起因する不具合
(13)指定規格以外の電気・燃料を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

1. この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
3. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　TEL(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

●「**故障かな？と思ったら**」32～38ページをもう一度確認していただき、直らないときは保証書（前ページ）に記載の**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

●修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
●修理料金は①技術料＋②部品代＋③出張料などで構成されています。
①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
②修理に使用した部品代金です。
③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品　　名	密閉式石油ストーブ
型　　名	機器側板の銘板に記載されています。11・12ページ
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

●この機器には「**保証書**」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
●一般家庭用の暖房以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

補修用性能部品について

●補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様からのお問い合わせは、フリーダイヤルへ

0120-925-339

携帯電話からは **0570-666-339**
（通話料金がかかります）

お客様から取得いたしました個人情報は、お客様へのお問い合わせ対応を目的として利用し、適切に管理します。修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関するお問い合わせ　**24時間365日受付**

商品に関するお問い合わせ　平日　8:10～18:00
土日祝　8:10～17:00

愛情点検



長年ご使用の石油暖房機の点検を！

こんな症状はありませんか
- ●水漏れや油漏れがある。
- ●煙が出たり、灯油の臭いがする。
- ●運転中にこげくさい臭いがする。
- ●異常な音や振動がする。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止して電源プラグを抜き、送油バルブを閉めて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所　CHOFU

本社　〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1